
easyHousing

環境設定マニュアル Windows8 編 第 1.0 版

2013年3月6日

日本電気株式会社

改版履歴

版	作成日	内容
初版	2013/03/06	・ 新規作成

目 次

1	はじめに	2
2	利用者環境	3
2.1	Windows ユーザの権限について	3
3	電子証明書のインストール	4
3.2	電子証明書の削除	10
4	インターネットエクスプローラ	13
5	必要ソフトウェアのセットアップ	22
5.1	JRE のインストール	22
5.1.1	JRE1.7 のインストール手順	24
5.2	easyHousing 電子署名ライブラリのインストール	26
	(補足) Administrator 権限の追加・削除手順	39
5.3	Reader について	43

1 はじめに

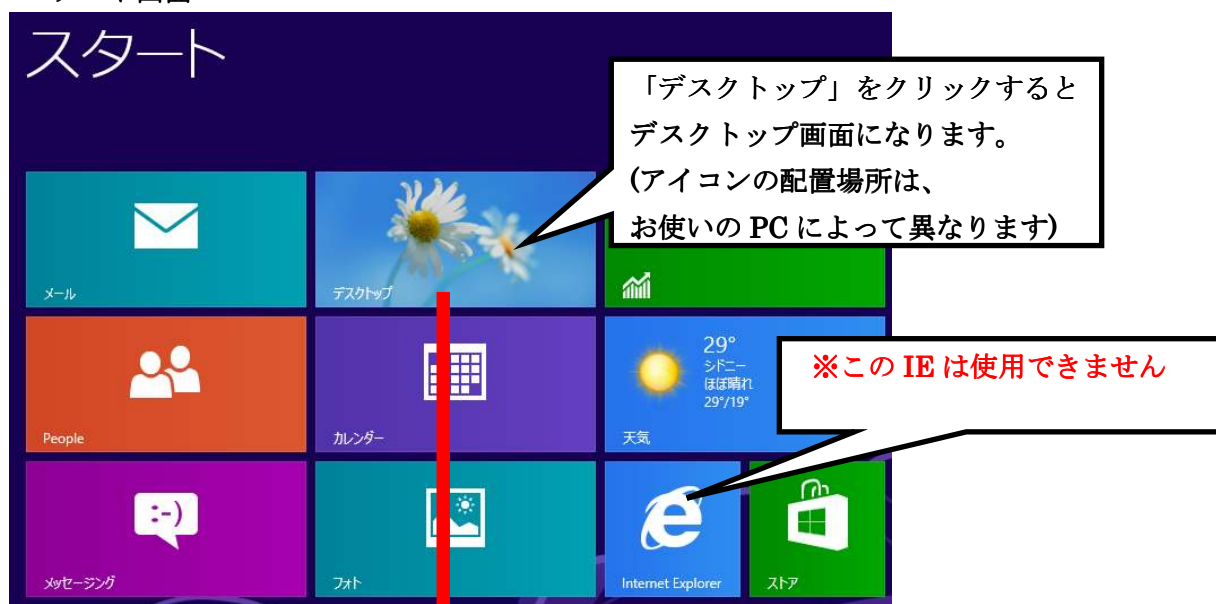
このマニュアルは、本サービス利用にあたり事前に準備が必要な項目を説明します。

- ・利用者環境の確認
- ・電子証明書のインストール
- ・インターネットエクスプローラ(IE)の設定
- ・必要ソフトウェア（電子署名ライブラリ、JRE）のセットアップ

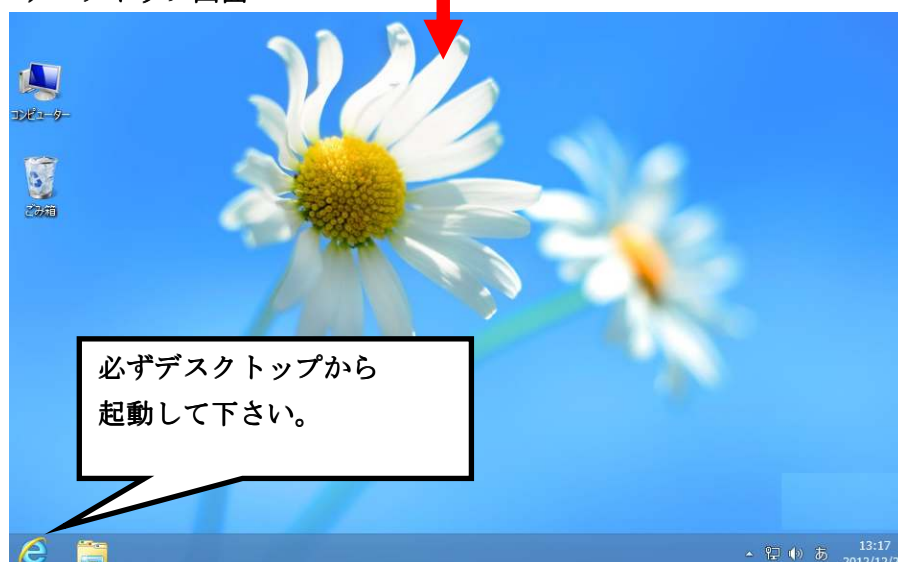
※このマニュアルは、Windows8 を対象としています。

また、easyHousing の各作業はスタート画面ではなくデスクトップ画面から行なってください。

スタート画面



デスクトップ画面



2 利用者環境

2.1 Windows ユーザの権限について

本サービスは事前準備の段階で、サービスを利用するユーザに Administrator 権限が必要になります。

(Administrator 権限が無い場合、一時的に付与する必要があります)

事前準備終了後、サービス利用時は Administrator 権限が無くても問題ありません。

電子証明書のインストール	Administrator 権限は不要です。
インターネットエクスプローラの設定	Administrator 権限は不要です。
電子署名ライブラリのインストール	Administrator 権限が無い場合、Administrator 権限の付与は必須です。
JRE のインストール	Administrator 権限が無い場合、Administrator 権限を付与するか、Administrator 権限を持つ他のユーザからのインストールが必要です。

3 電子証明書のインストール

電子証明書のインストール手順を説明します。

- ※ 本作業は、発注処理・請負処理の契約行為を行う端末に必要な作業です。
参照するだけであれば不要です。

●用意するもの

- *1 「easyHousing 電子証明書」のCD-ROM
- *2 「証明書パスワード（PINコード）」を記載している葉書

※証明書を更新する場合、新しい証明書もインストールする手順は同じですが、古い証明書を削除する必要があります。

(10 ページ『3.2 電子証明書の削除』を参照してください)

①電子証明書のCD-ROM (*1) をドライブにセットしてください。

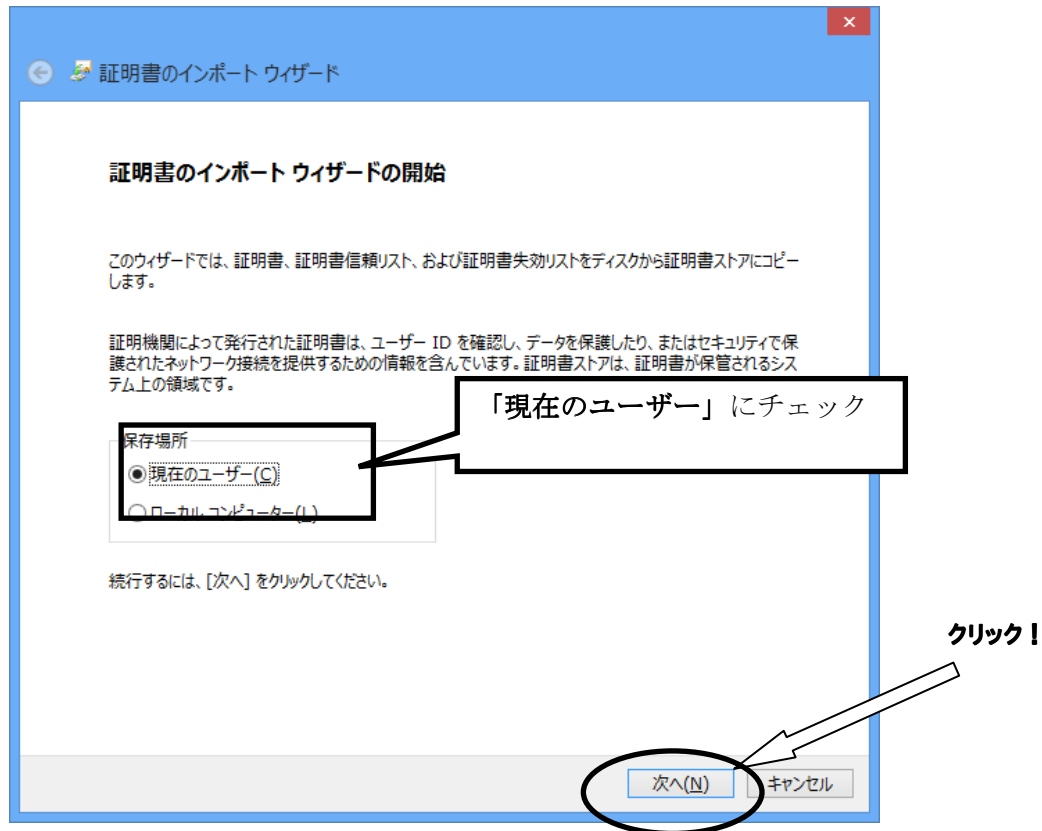
「CERT_xxxxxx.p12」をダブルクリックし、セットアップを開始します。

◆メモ◆

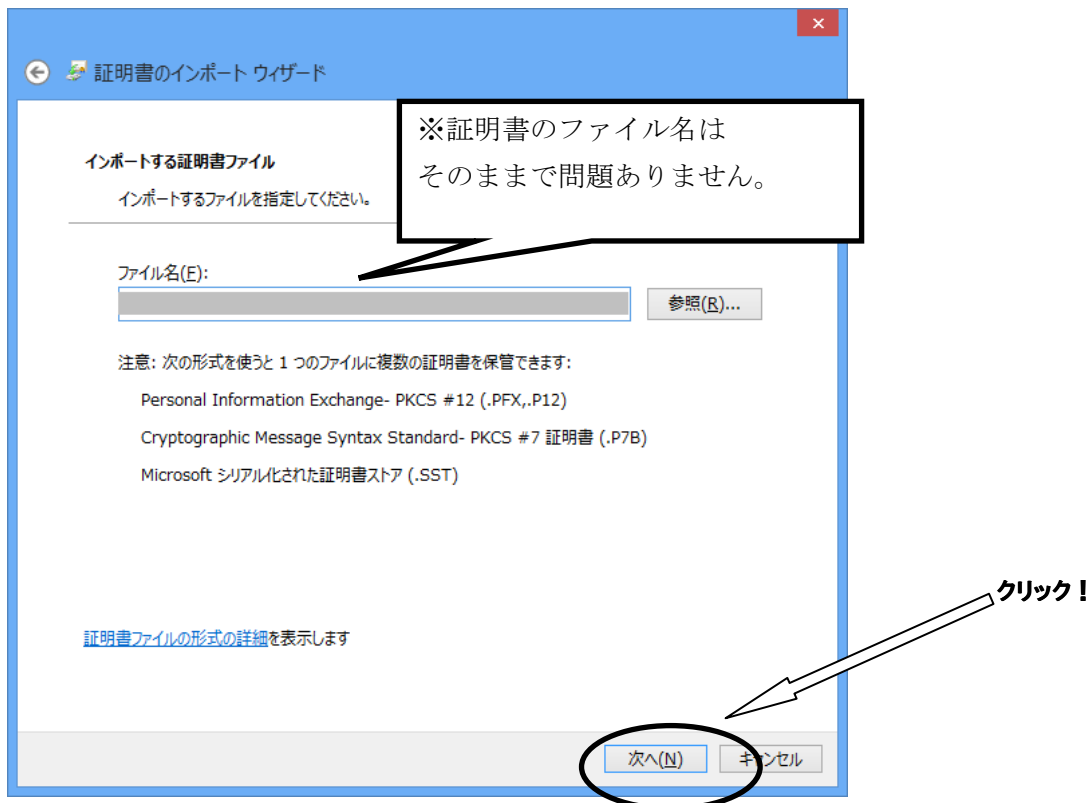
オートラン機能が有効なシステムでは、CD-ROM の内容が自動的に読み込まれ、下図の画面が表示されます。

オートランに対応していないシステムや、ファイルを指定してインストールする場合は、エクスプローラから CD-ROM ドライブを開いていただければ同様な操作ができます。

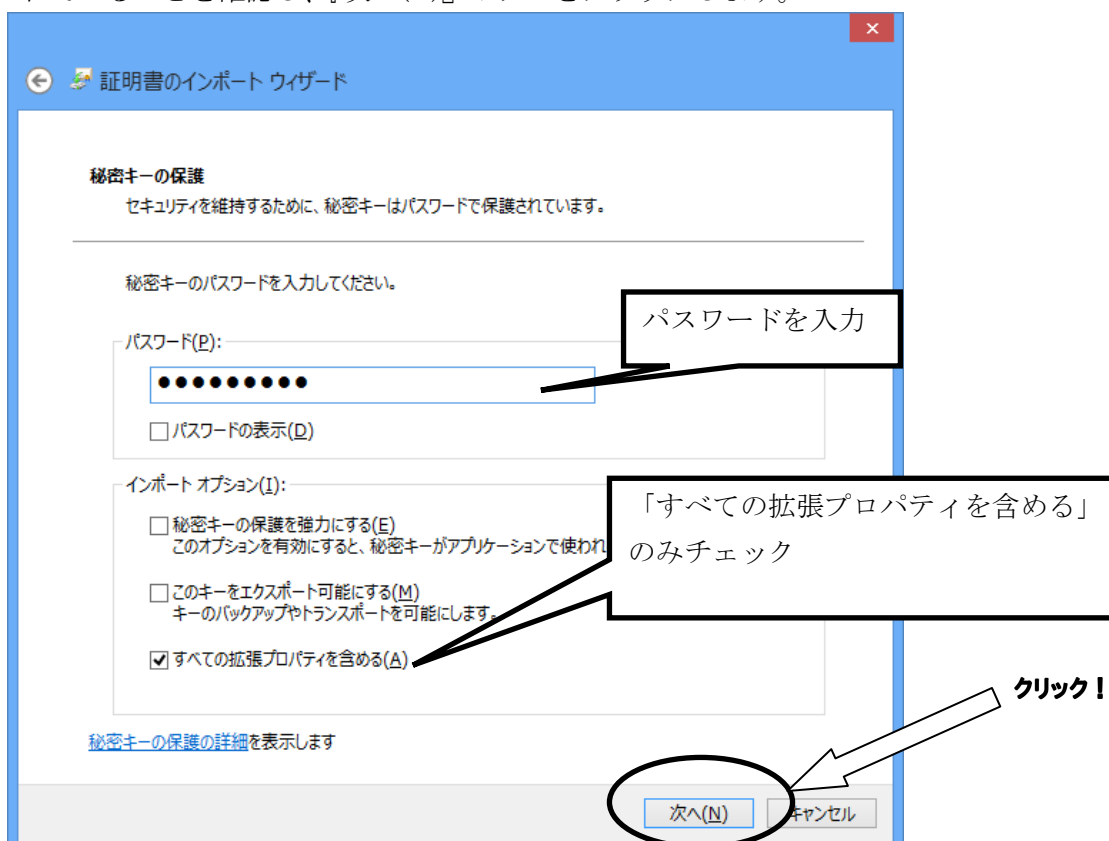
- ②「証明書のインポートウィザード」が表示されるので、「現在のユーザー」にチェックが付いていることを確認し、『次へ』ボタンをクリックします。



③<インポートする証明書ファイル>画面が表示されます。『次へ』ボタンをクリックします。



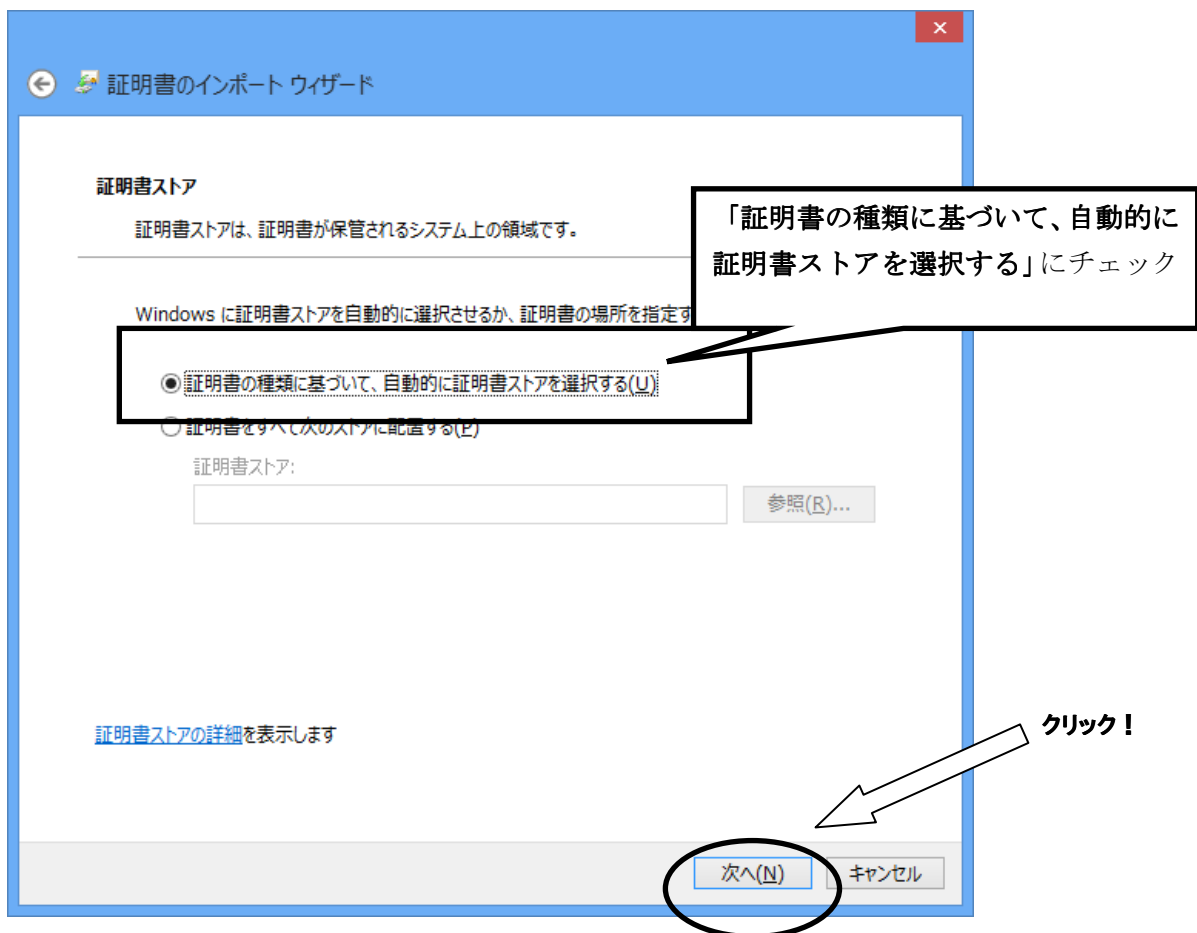
④「秘密キーの保護」画面で、「証明書パスワード（PINコード）」の葉書（*2）に記載されているパスワードを入力し、チェックボックスは「すべての拡張プロパティを含める」のみチェックされていることを確認し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



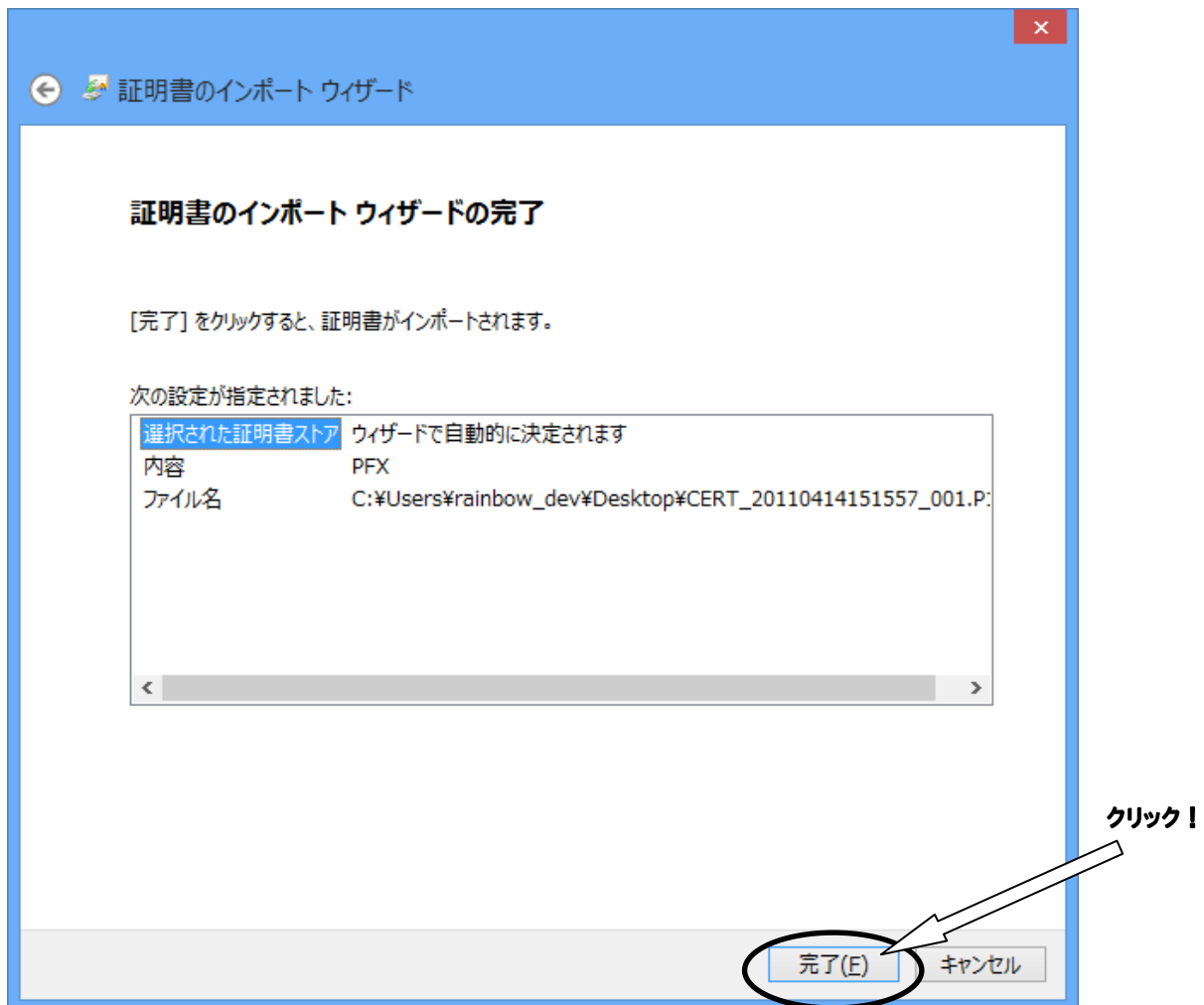
★注意★

- ・パスワードは「大文字」「小文字」を区別しています。葉書に表記されている通りに入力を行ってください。
- ・パスワードを打つと全ての文字が「●」で表示されますので、お間違えの無いように入力を行ってください。

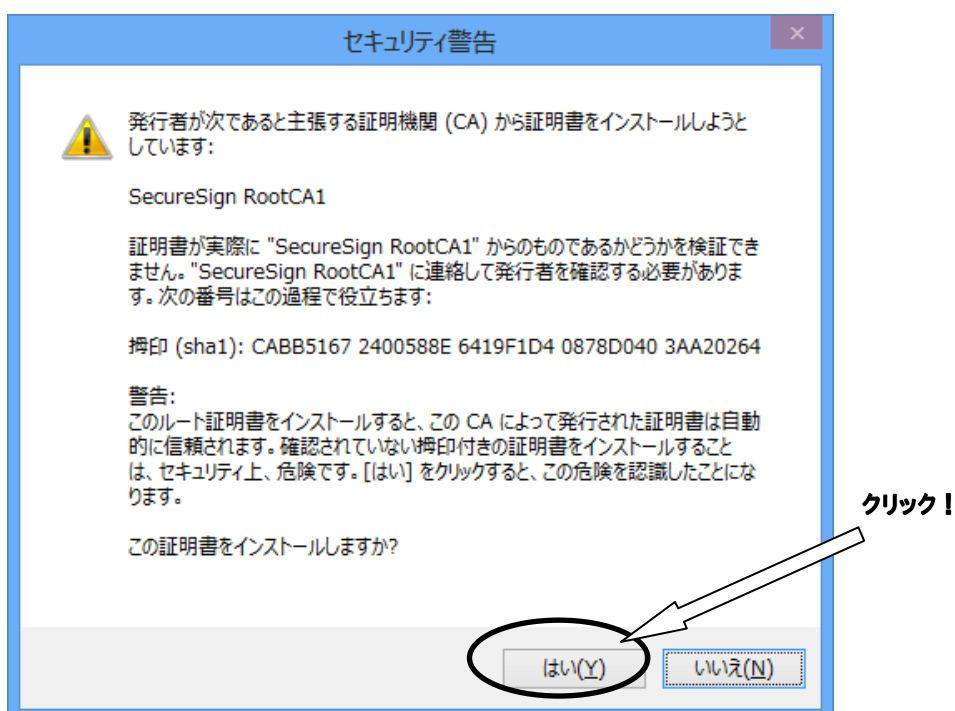
⑤＜証明書ストア＞画面では、「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」を選択し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



⑥＜証明書インポート ウィザードの完了＞画面では、『完了』をクリックします。



※環境によっては、以下のような画面が表示される場合がありますが「はい」をクリックしてください。

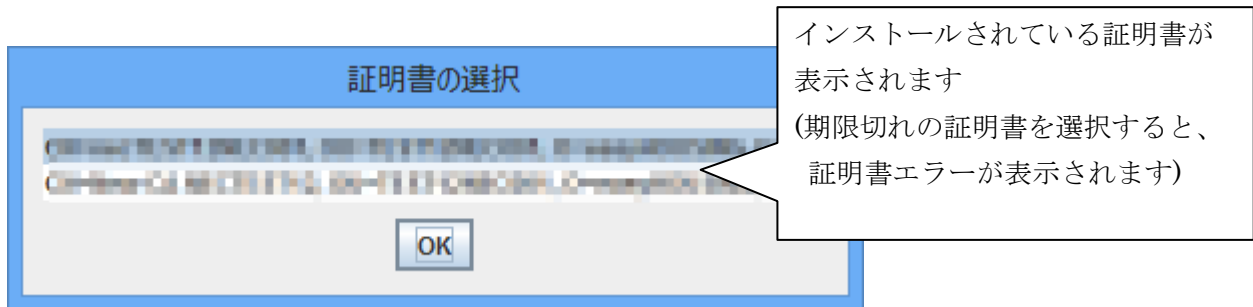


★注意★

電子証明書の保管庫は Windows の証明書ストア“個人”になるので、発注/請負を行うには、電子証明書をインストールした際のユーザーアカウントで Windows にログインしておく必要があります。

3.2 電子証明書の削除

easyHousing の証明書が複数インストールされている場合、easyHousing を利用中に以下のような画面が表示される場合があります。

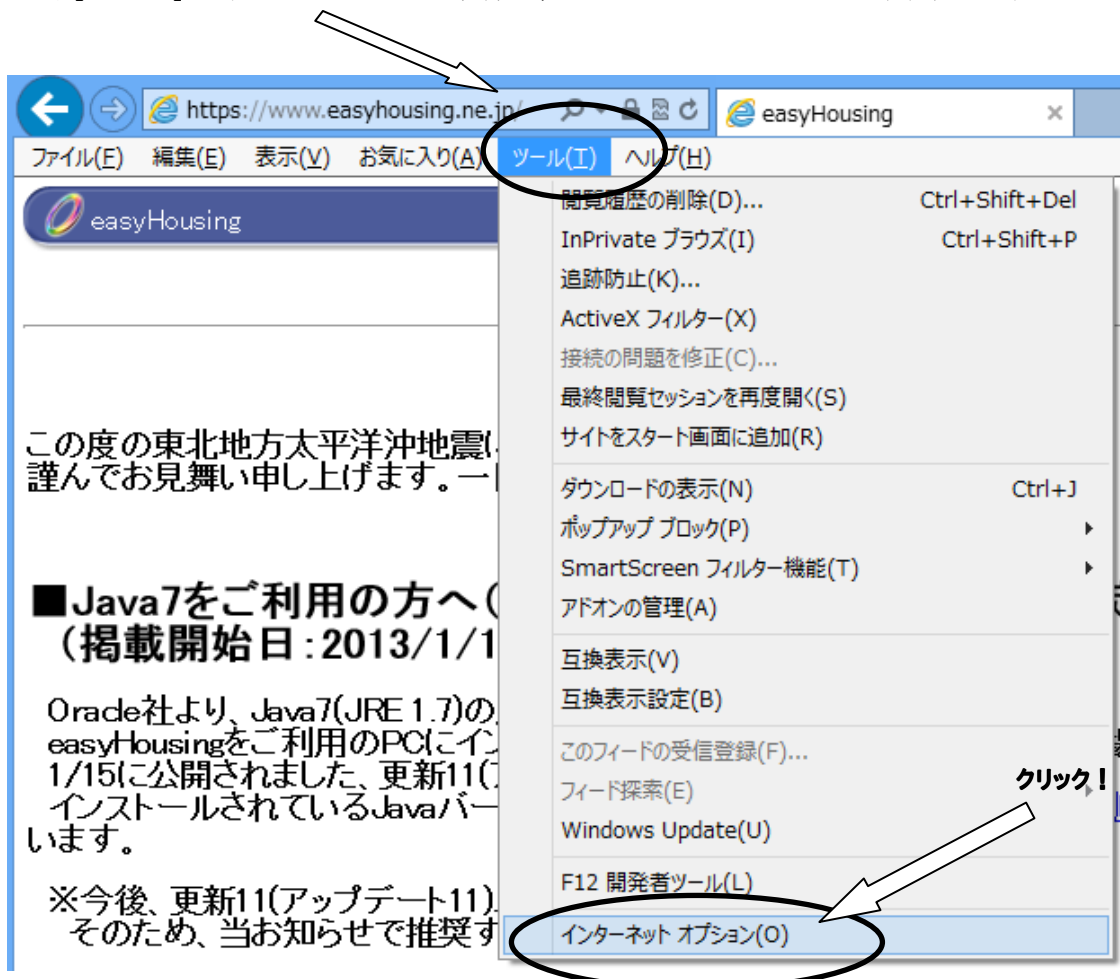


証明書更新後に残る古い証明書など、不要な証明書は削除をお願い致します。
削除の手順は以下になります。

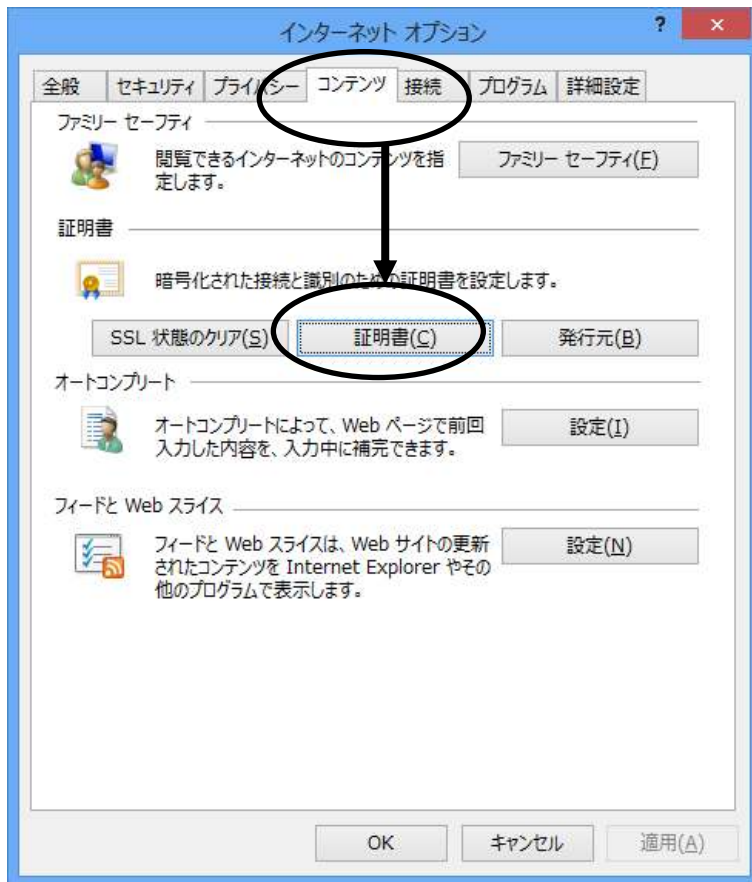
①Internet Explorer を起動します。

②メニューバーの【ツール】－【インターネットオプション】を開きます。

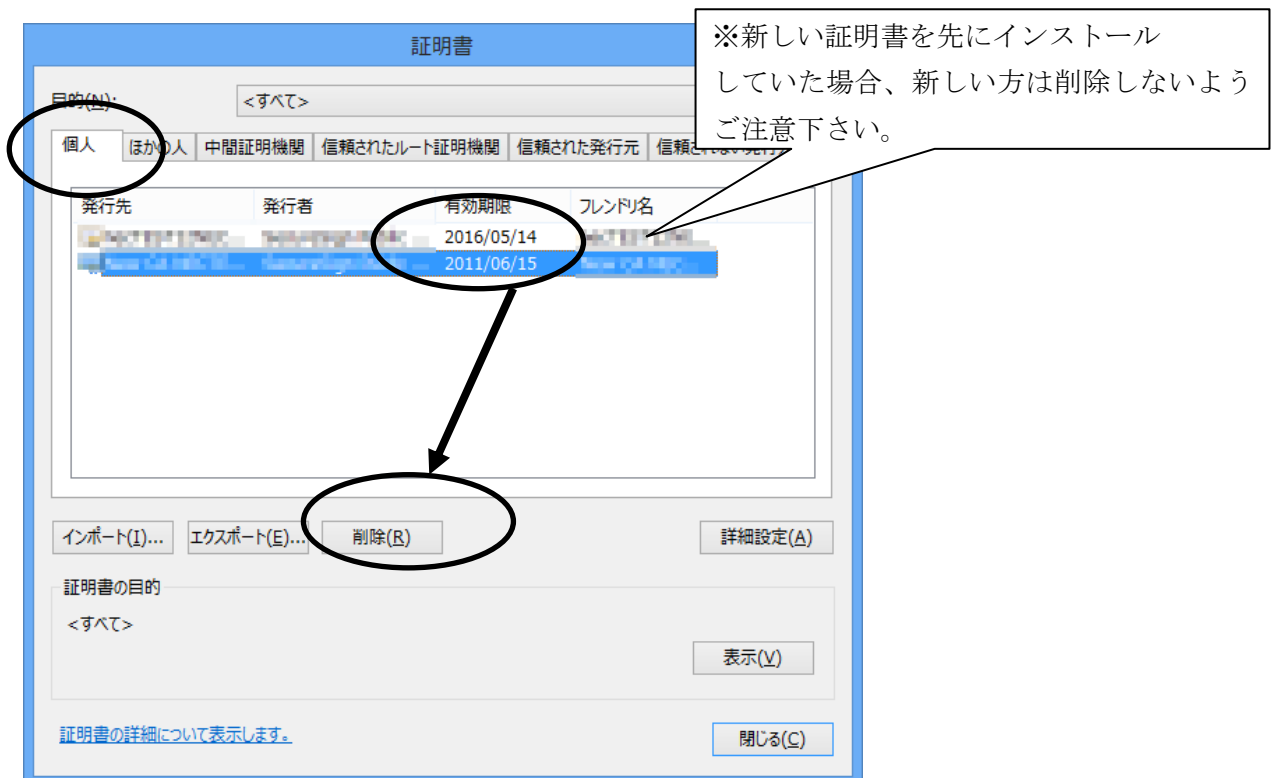
(【ツール】が表示されていない場合は、キーボードの Alt キーを押下すると表示されます)



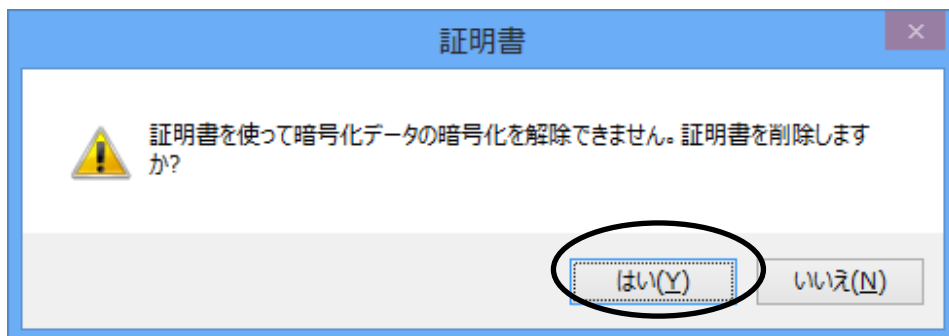
③ 「コンテンツ」タブ、「証明書」ボタンの順にクリックしてください。



④ 「個人」タブで easyHousing の古い証明書をクリックした後、「削除」ボタンをクリックします。



⑤警告画面では、「はい」をクリックして削除します。



⑥証明書画面に戻った後、「閉じる」ボタンをクリックします。



⑦<インターネットオプション>画面に戻ったら、『OK』ボタンクリックで画面を閉じ、削除は終了です。

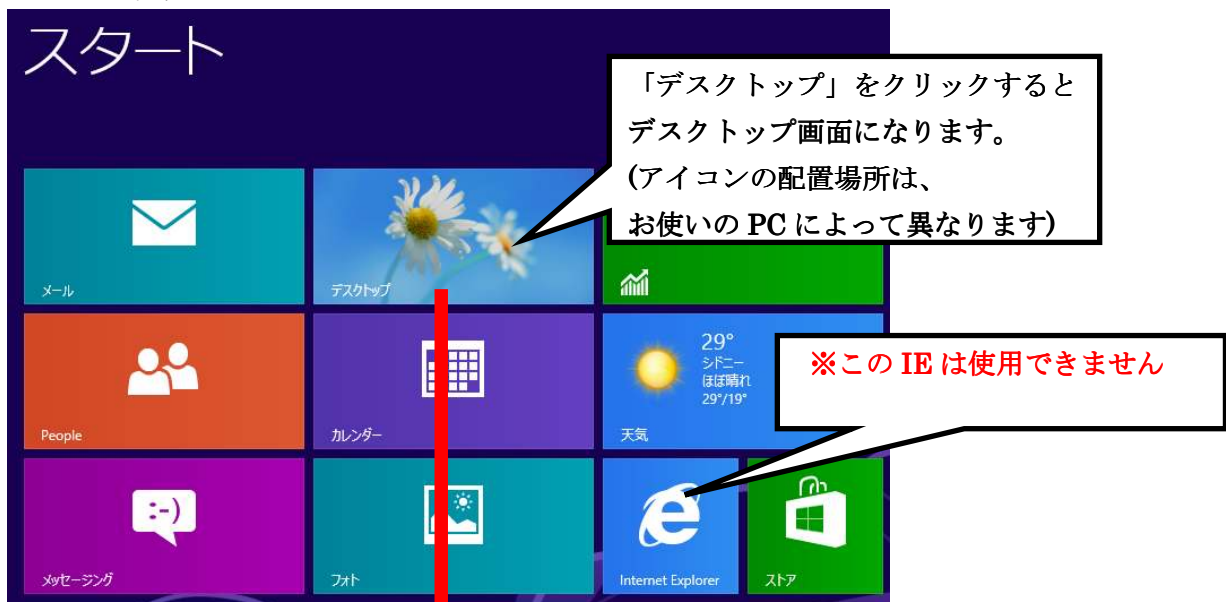
4 インターネットエクスプローラ

本サービスでは以下の設定を推奨しますが、セキュリティレベルの変更は、お客様のご判断のもとに自己責任で行ってください。

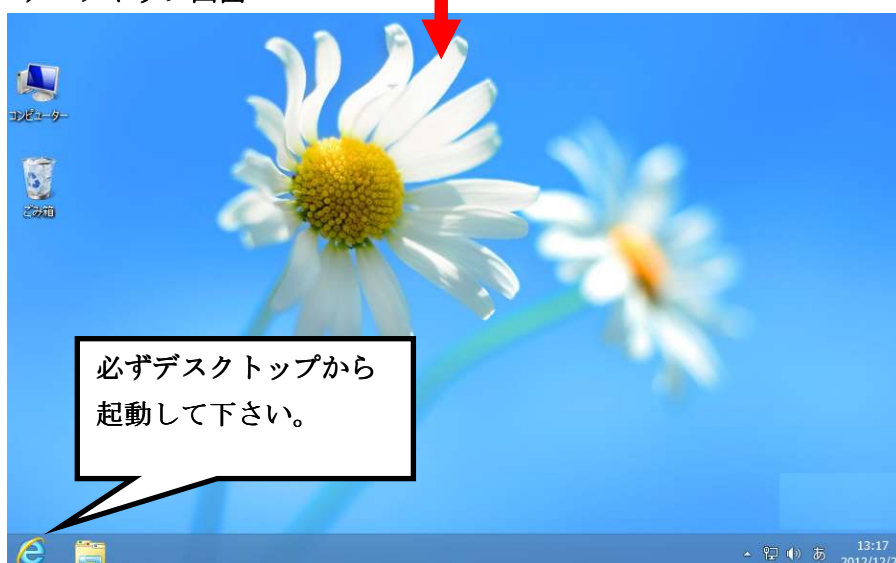
このマニュアルでは、Internet Explorer 10 について説明しています。

※Internet Explorer はスタート画面ではなく、デスクトップ画面から起動してください。

スタート画面



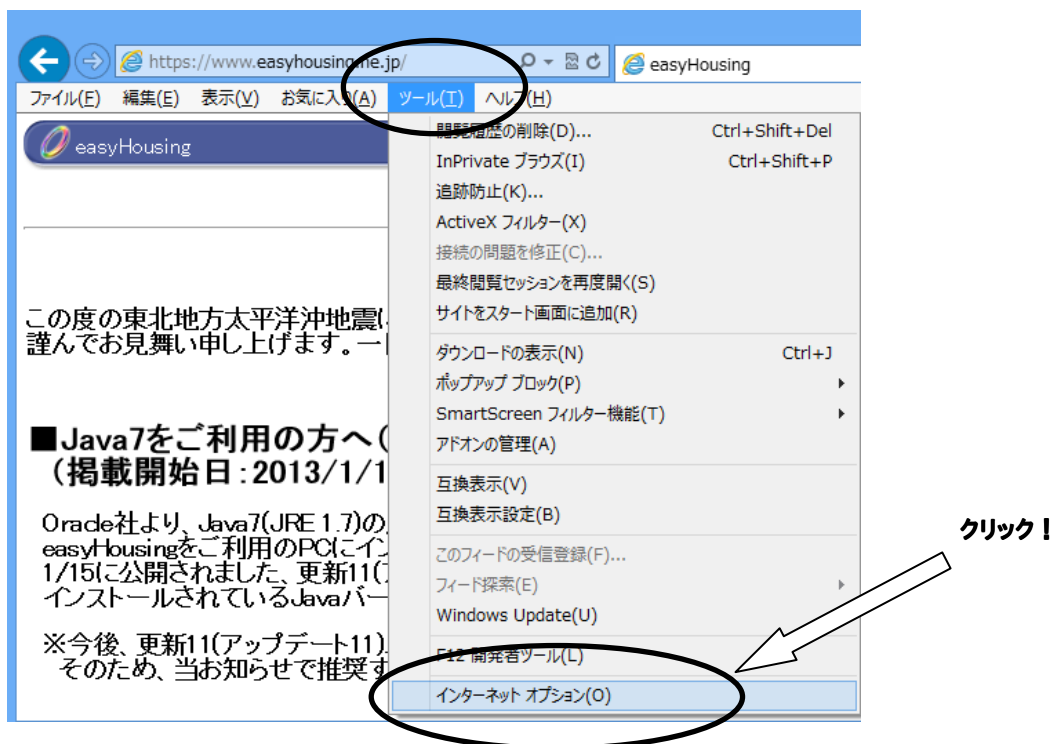
デスクトップ画面



4.1 Internet Explorer の設定

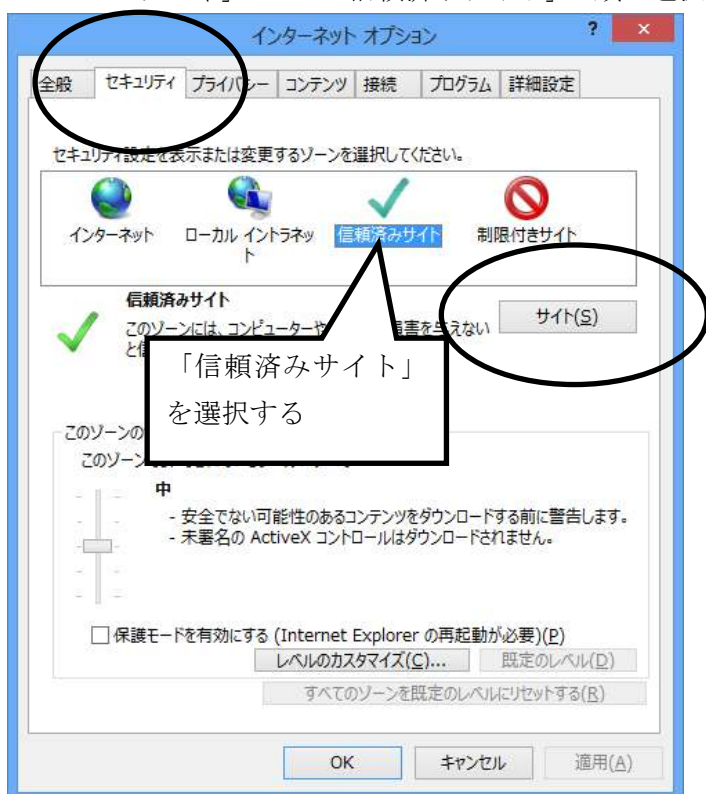
①メニューバーの【ツール】－【インターネットオプション】を開きます。

(【ツール】が表示されていない場合は、キーボードの Alt キーを押下すると表示されます)

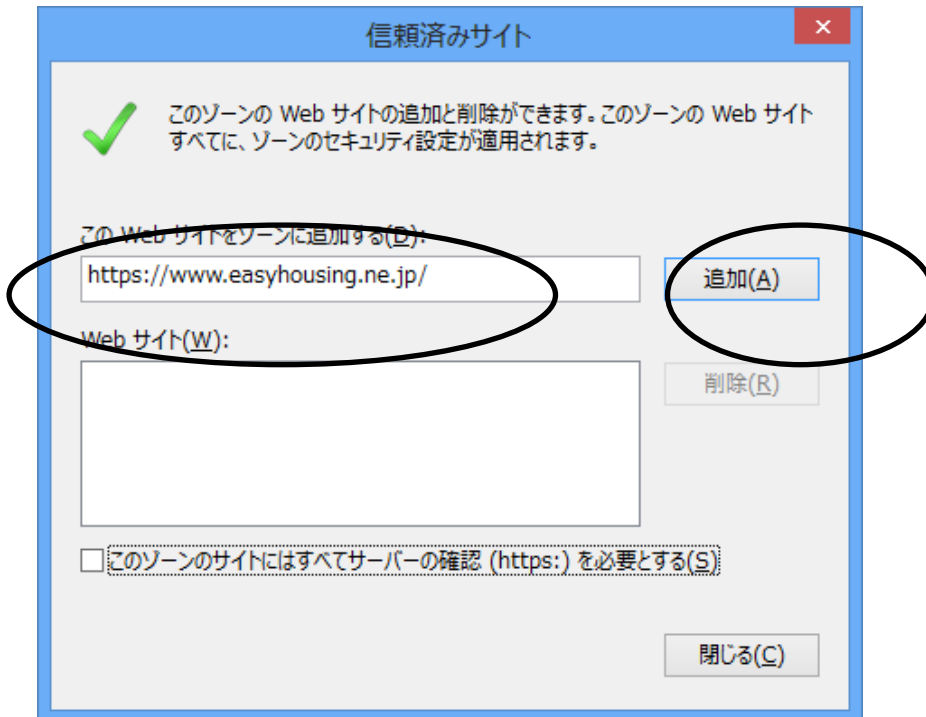


②信頼済みサイトの設定をします。

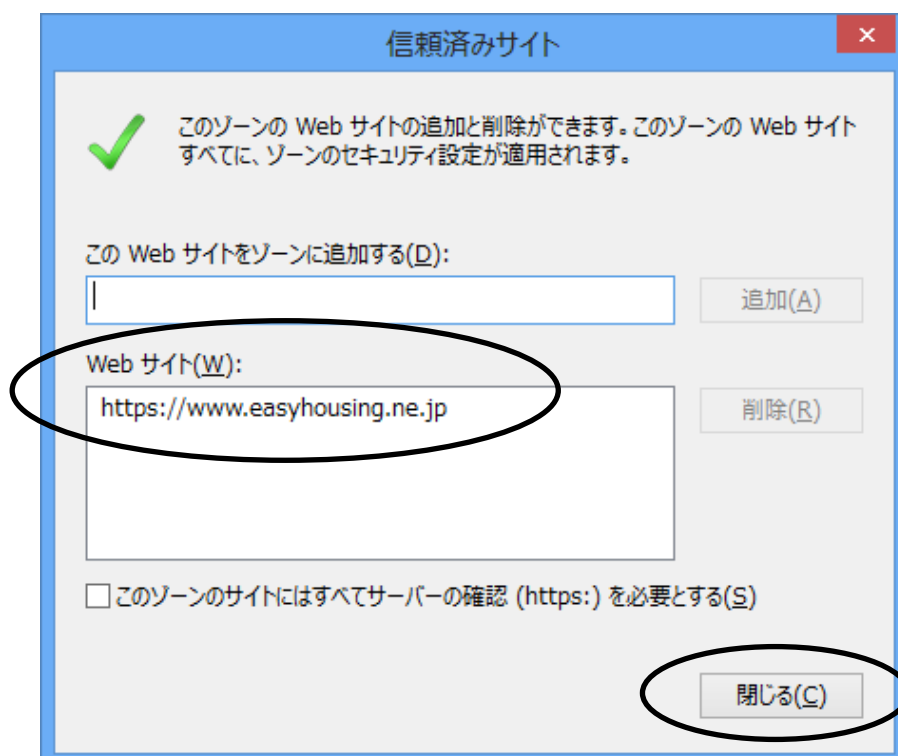
1. 「セキュリティ」タブ→「信頼済みサイト」の順に選択し、『サイト』ボタンをクリックして下さい。



2.信頼済みサイトの設定画面が表示されるので、「この Web サイトをゾーンに追加する」に「https://www.easyhousing.ne.jp/」と入力し、「追加」ボタンを押下してください。

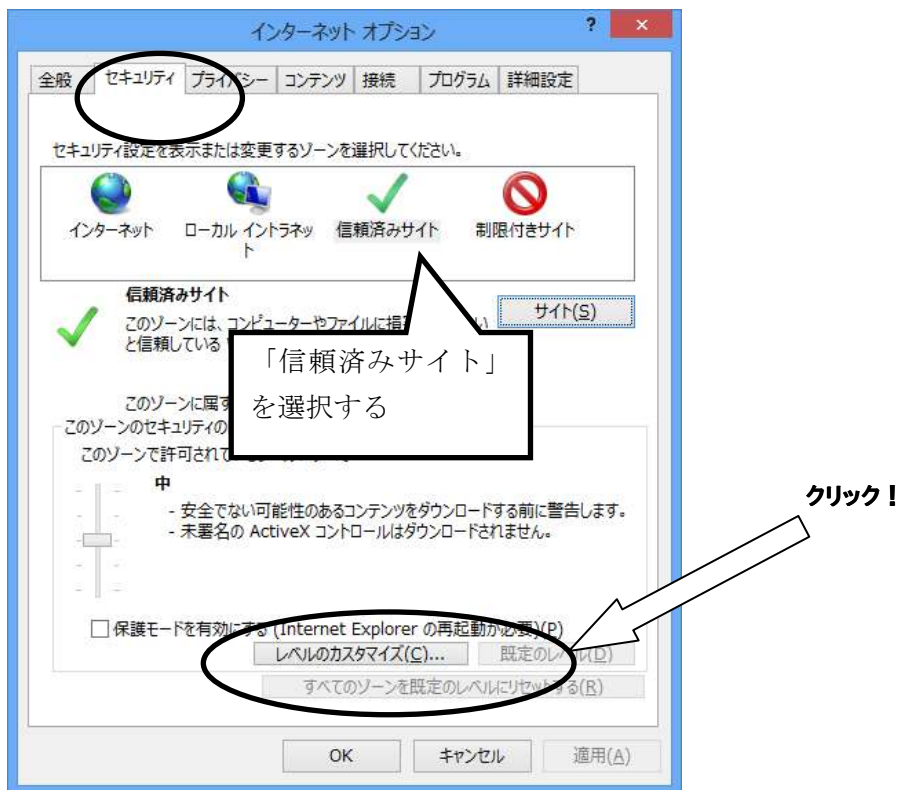


3.「Web サイト」に「https://www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタンを押下してください



③<インターネットオプション>画面で、[セキュリティ] タブを選択します。

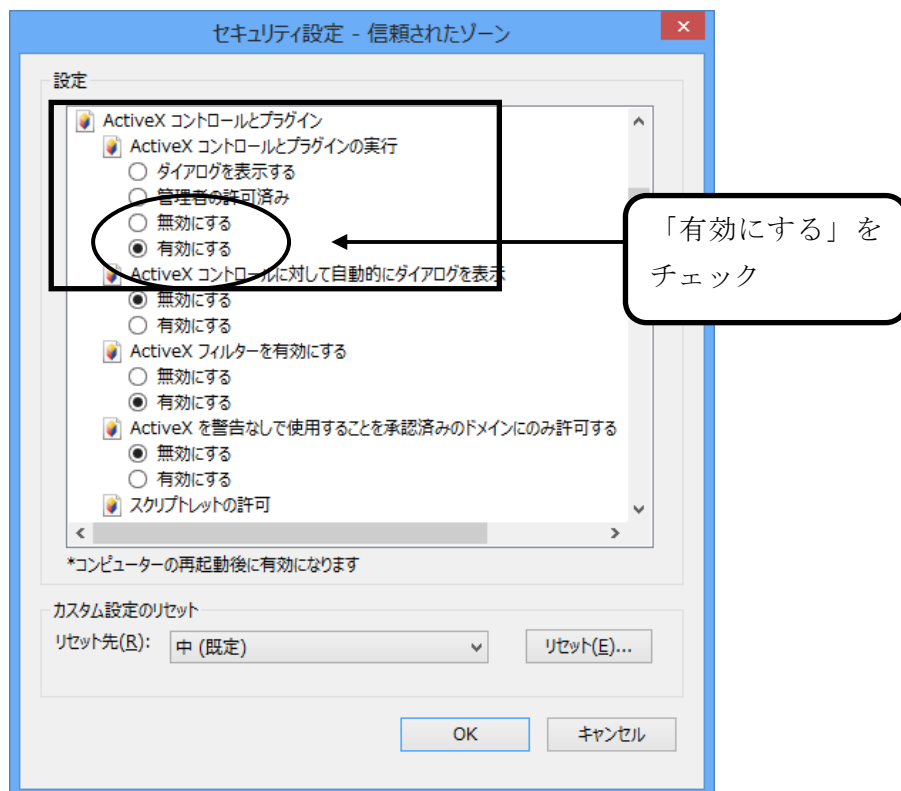
「信頼済みサイト」を選択し、『レベルのカスタマイズ』ボタンをクリックして下さい。



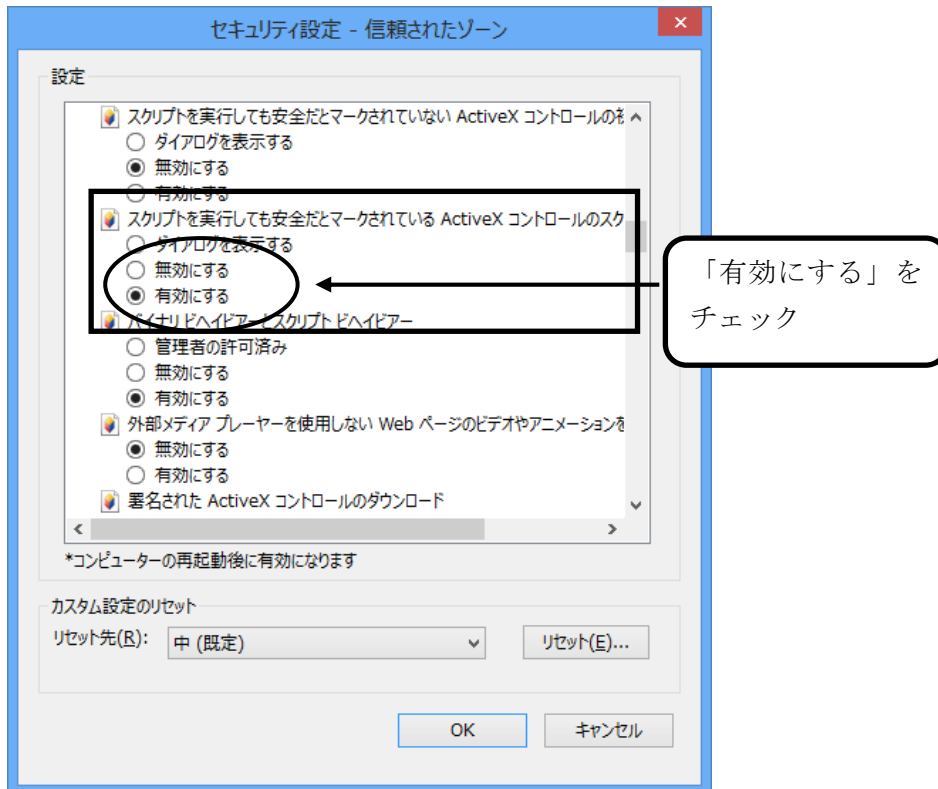
④<セキュリティの設定>画面が表示されます。

●ActiveX コントロールとプラグインの実行

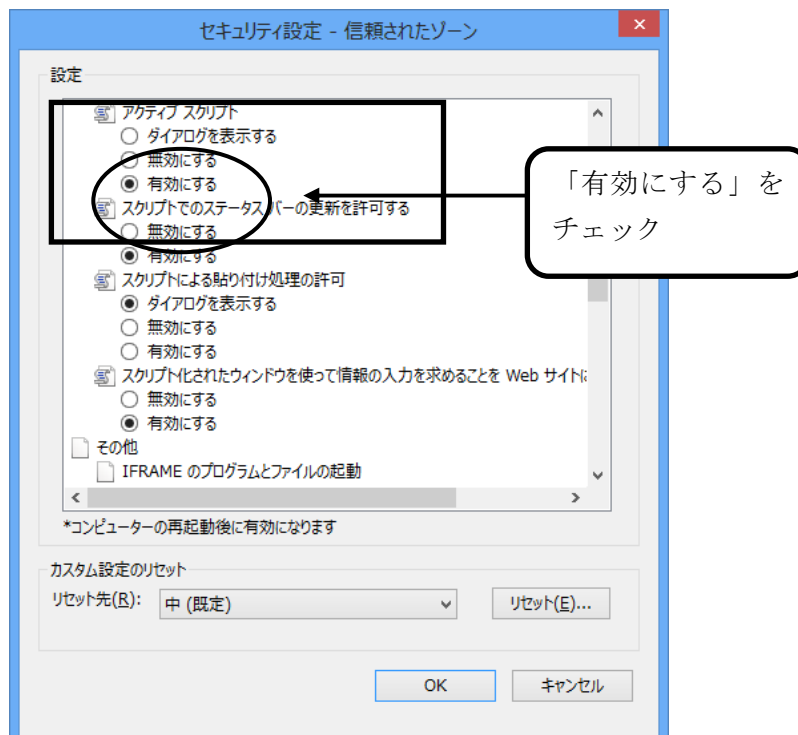
→「有効にする」にチェックします。



- スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行
→「有効にする」にチェックします。

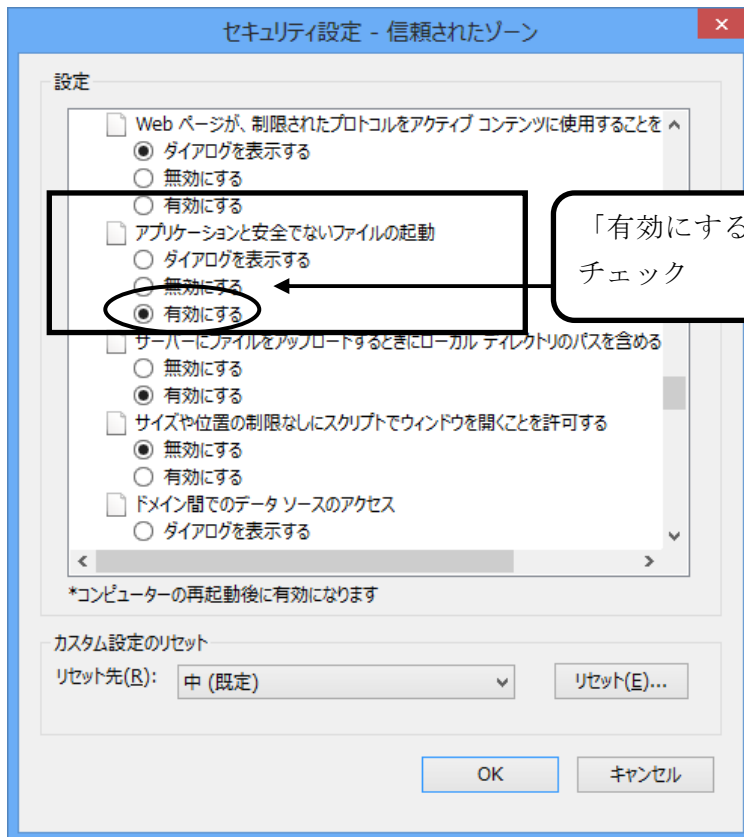


- アクティブスクリプト
→「有効にする」にチェックします。



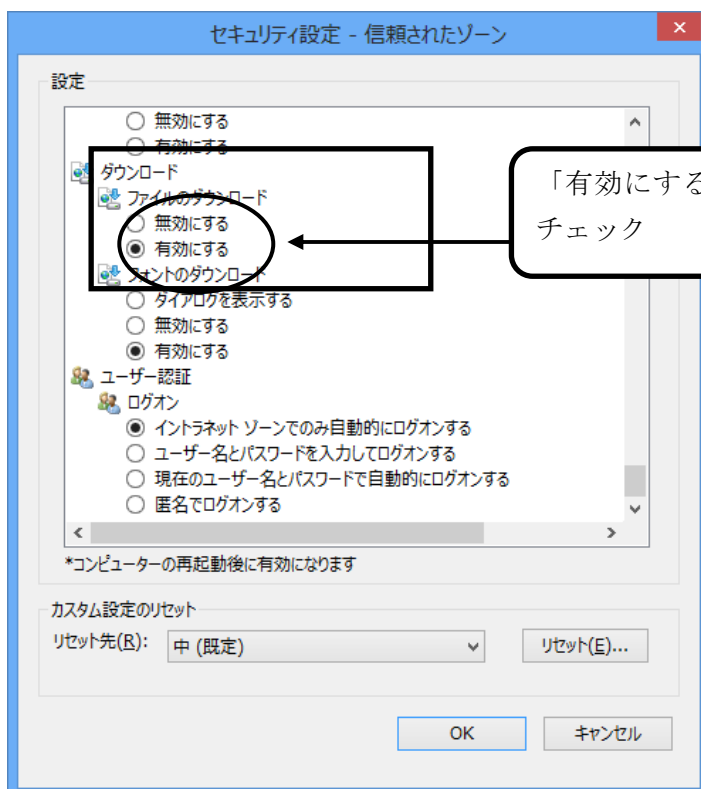
●アプリケーションと安全でないファイルの起動

→「有効にする」にチェックします。



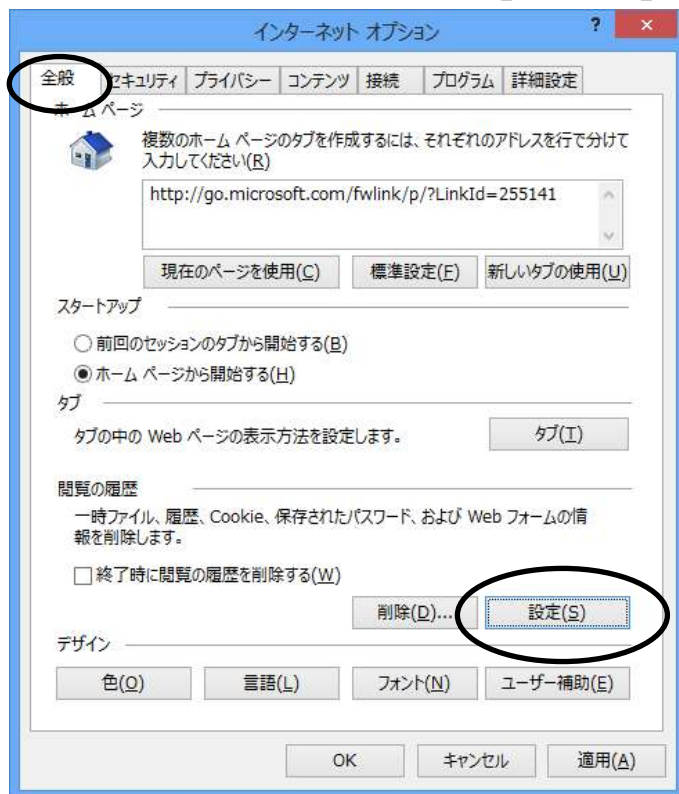
●ファイルのダウンロード

→「有効にする」にチェックします。



⑤『OK』ボタンをクリックし、＜インターネットオプション＞画面に戻ります。

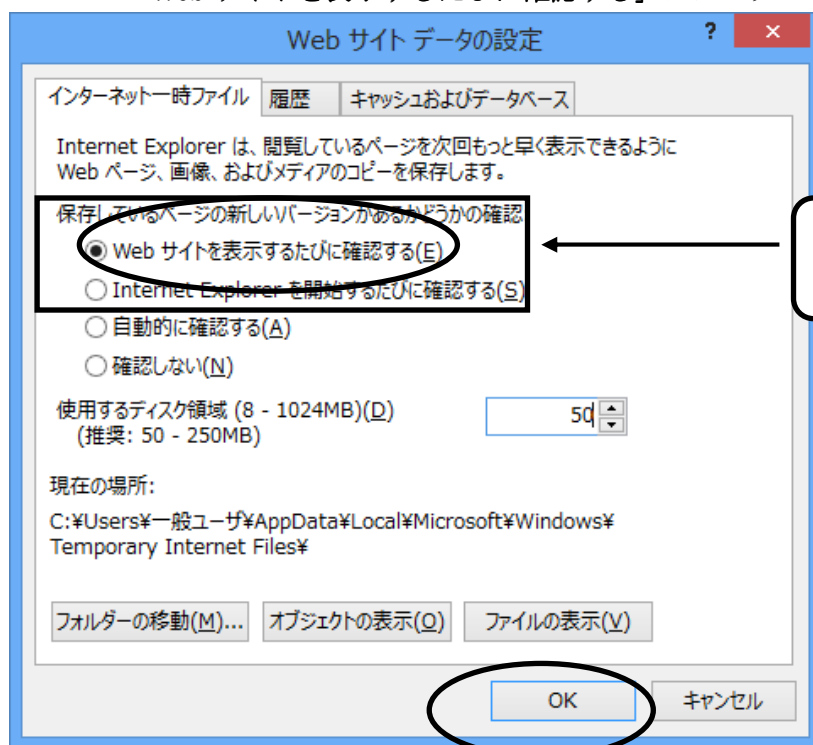
⑥〔全般〕タブを選択し、『閲覧の履歴』の『設定』ボタンをクリックしてください。



⑦「インターネット一時ファイルと履歴の設定」

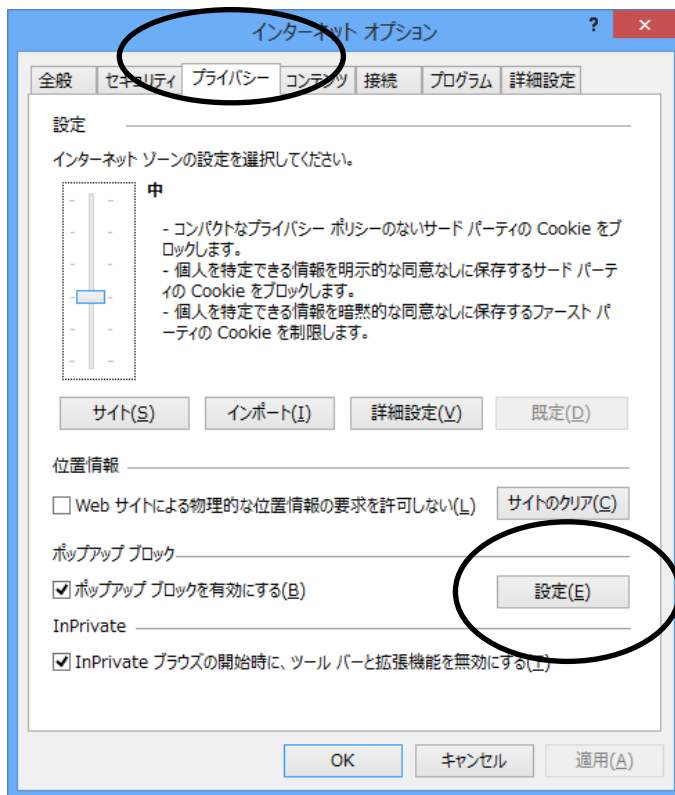
●保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認

→「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェックし、OK ボタンをクリックします。

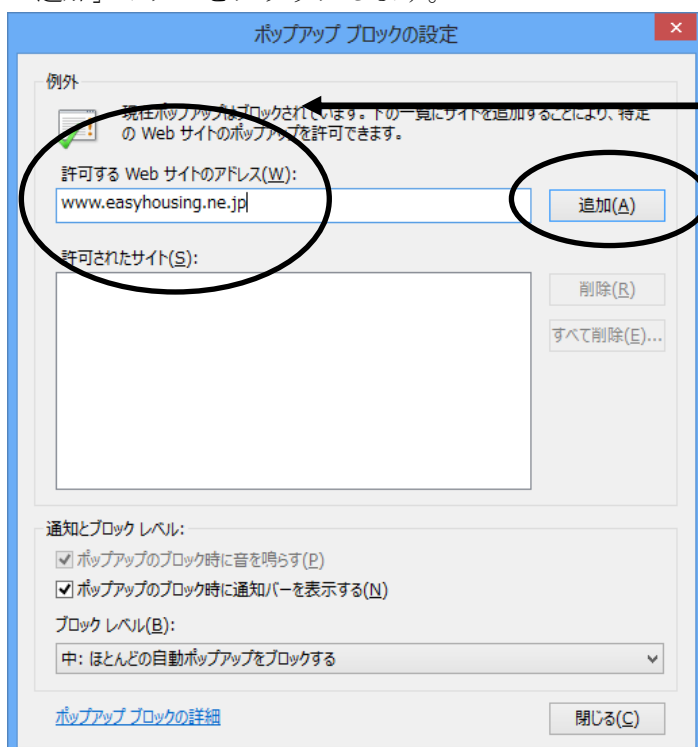


「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェック

⑧ [プライバシー] タブを選択し、「ポップアップブロック」の「設定」ボタンをクリックしてください。

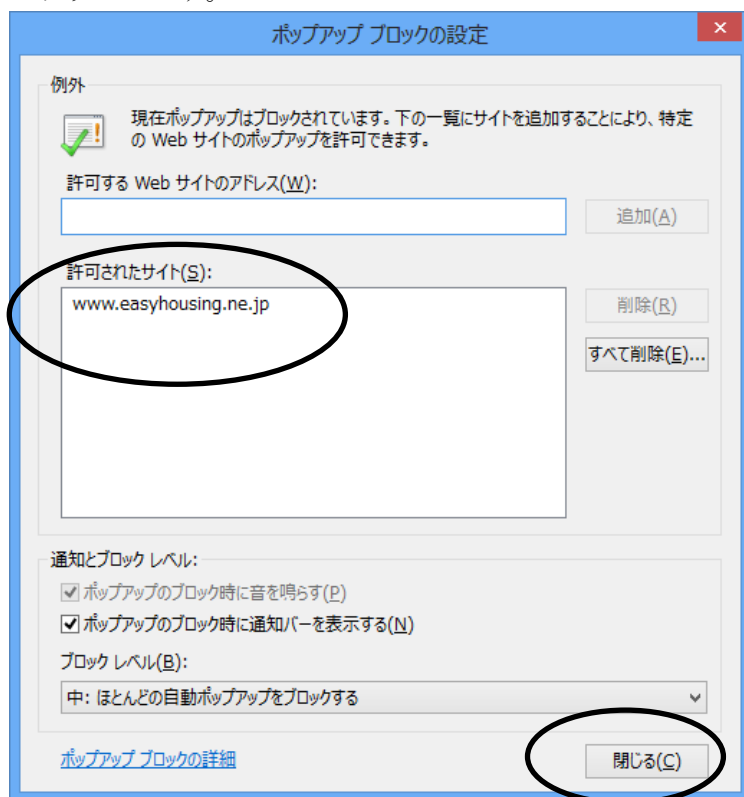


「許可する Web サイトのアドレス」に、「www.easyhousing.ne.jp」を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



www.easyhousing.ne.jp
を入力

「許可されたサイト」に「www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタンをクリックします。



⑨<インターネットオプション>画面に戻ったら、『OK』ボタンクリックで画面を閉じ、設定は終了です。

5 必要ソフトウェアのセットアップ

インストール作業を開始する前に、インストール操作での留意点は以下の通りです。

- (1) すべてのアプリケーションを終了してください
- (2) インストール中にリセットボタンや電源スイッチを押さないでください
- (3) 必ず、インストールプログラムを使用してインストールして下さい。

本書の手順以外でインストールした場合、動作の保証はできません。

5.1 JRE のインストール

◆JRE のインストール手順を説明します。

このマニュアルでは、JRE1.7 の場合について説明致します。

※:サイトの更新等により、ダウンロード時のファイル名、バージョン等が画像と異なる場合があります。

①JRE をダウンロードします。

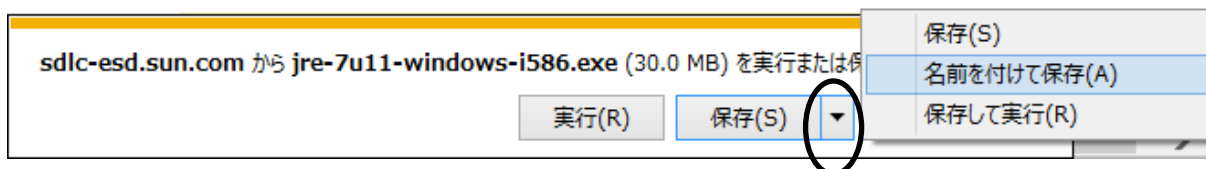
以下の URL にアクセスします。

<http://www.java.com/ja/download/manual.jsp>

『Windows オフライン』（32 ビットと 64 ビットが表示された場合は、『Windows オフライン（32 ビット）』をクリックします。



「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」で任意の場所に保存します。



※ダウンロードするファイルは、ダウンロードを行う時点での最新バージョンとなるため、ファイル名が上記画像と異なる場合があります。

②インターネットエクスプローラなどすべてのアプリケーションを閉じます。
JRE のインストール手順は以下を参照してください。

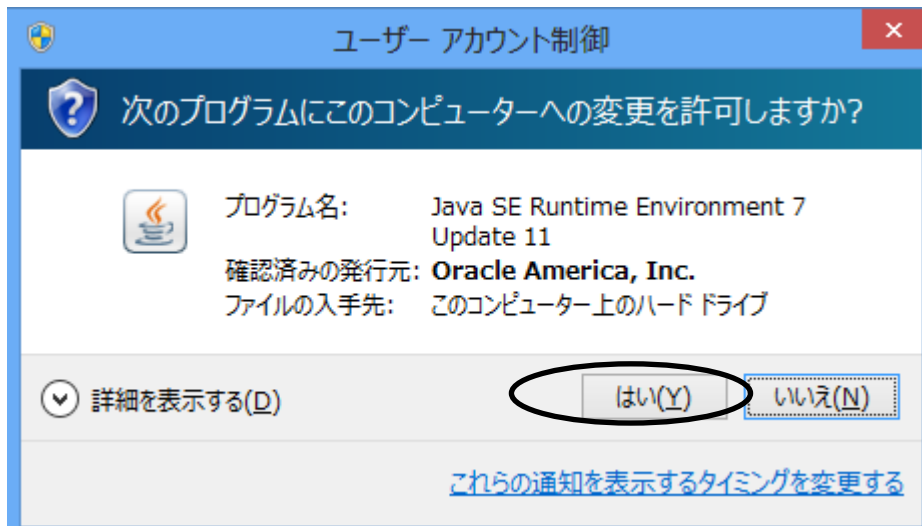
★注意★

インターネットエクスプローラを起動したままインストールした場合、再起動させるまで **JAVA** のインストールが有効になりません。

5.1.1 JRE1.7 のインストール手順

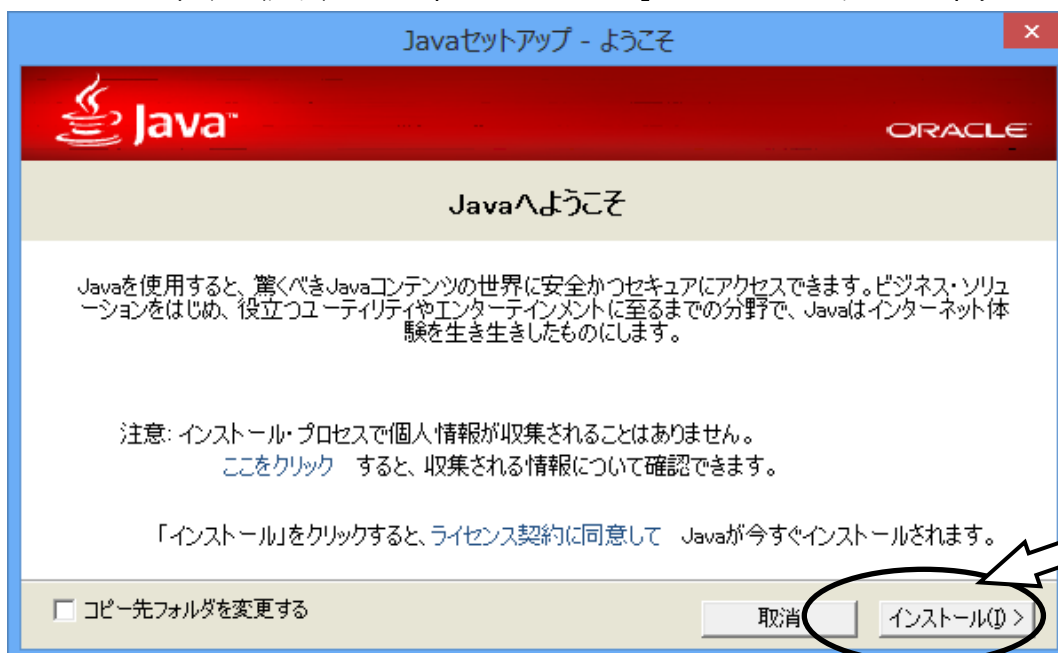
①保存したファイルのアイコンをダブルクリックします。

ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



②<Java のセットアップ>画面が表示されます。

ライセンス契約を読み終えたら、「インストール」ボタンをクリックして、次に進みます。



③<セットアップ - 進行中>画面が表示されます。



④<セットアップ - 完了>画面が表示されます。

『閉じる』ボタンをクリックします。

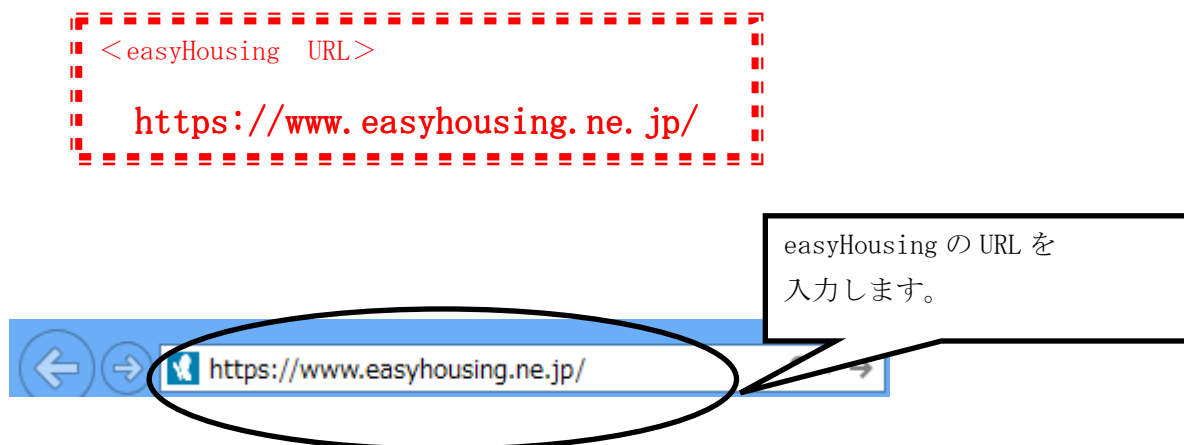


5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール

インストール手順

◆easyHousing 電子署名ライブラリのインストール手順を説明します。

- ① インターネットエクスプローラを立ち上げアドレスバーに easyHousing のURLを入力します。



- ②Enterキーを押下するとお知らせ画面が表示され、15秒経過するとログイン画面が表示されます。

※お知らせ画面は閉じないで下さい

ログイン画面では「企業管理コード（12桁）」と「ユーザーID」「パスワード」を入力することにより認証を行います。

企業コード、ログインID、パスワードを入力し、ログインします。



※ログイン画面と同時に、以下のような画面が開きます。



これは発注/請負処理高速化のための画面となります。

読み込み終了後は自動的に閉じられますので、×ボタンで閉じないようにしてください。

なお、読み込み処理中もログインなどの操作は可能です。

★初回接続時は、以下のような警告メッセージが表示されます。

この場合、次の手順で実行するようにして下さい。

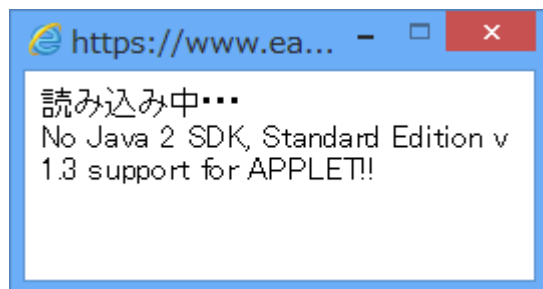
- ①『この発行者からのコンテンツを常に信頼』をチェックします。
- ②『実行』ボタンをクリックします。



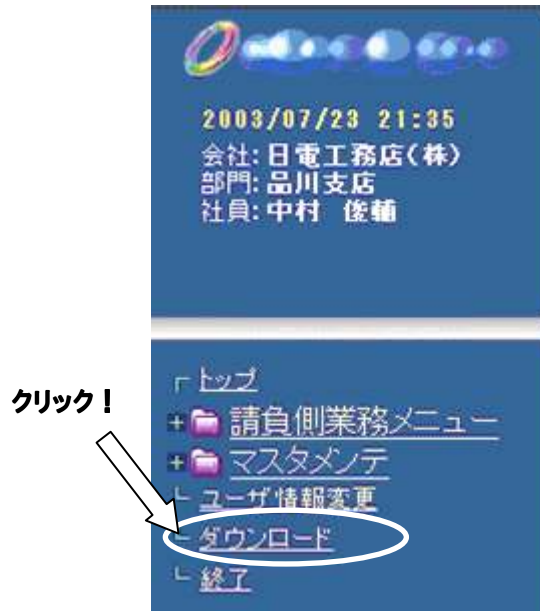
Java がインストールされていない場合

以下のようなメッセージが表示された場合は、×ボタンで画面を閉じ

Java をインストールして下さい。(22 ページ 『5.1 JRE のインストール』を参照して下さい)



③メニューから【ダウンロード】を選んでください。



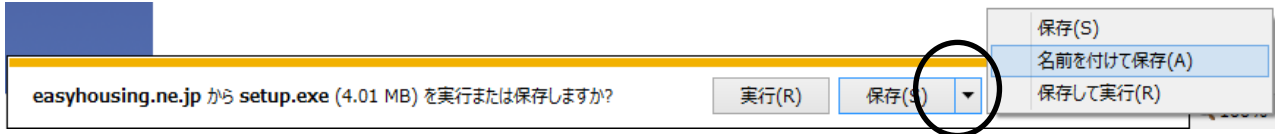
④＜ダウンロード＞画面が表示されます。

「電子署名ライブラリセットアップファイル」右の「download」という文字をクリックします。



⑤<ファイルのダウンロード>画面が表示されます。

「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」をクリックしてください。



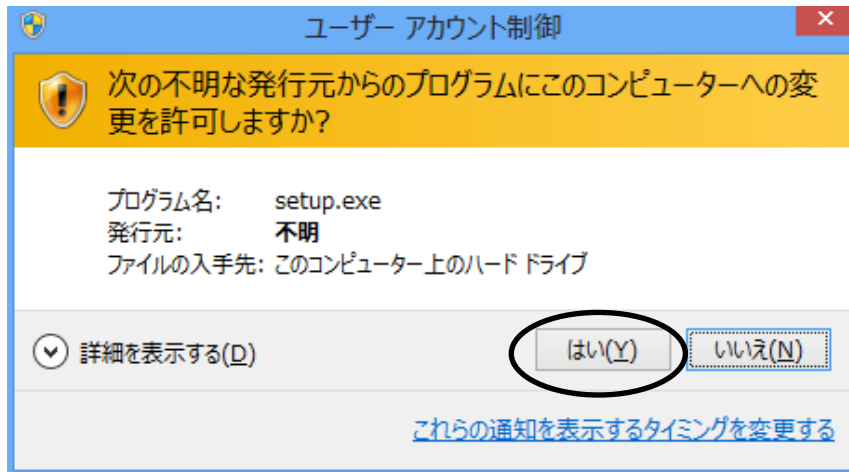
⑥<名前をつけて保存>画面が表示されます。任意のフォルダへ保存してください。



クリック！

- ⑦保存したファイル「setup.exe」をダブルクリックし、
セットアップを開始します。

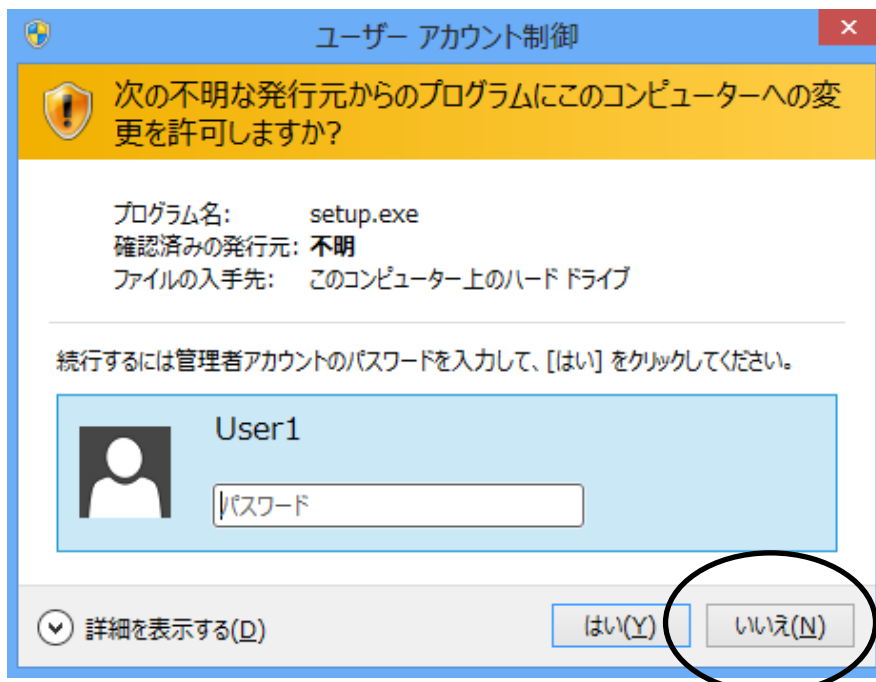
以下の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。



(パスワードの入力欄が表示された場合)

ここでパスワードを入力し続行しても、管理者ユーザに設定が行われるため、
現在のユーザには設定できません。

「いいえ」を選択し、39 ページ『(補足) Administrator 権限の追加・削除手順』に従って
現在のユーザに Administrator 権限を付加した後、⑦からやり直して下さい。

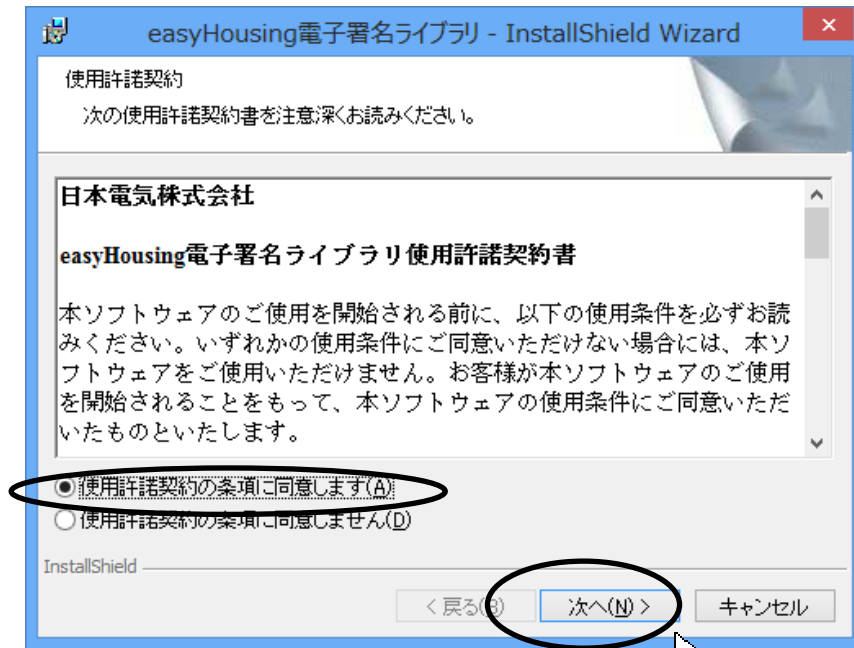


⑧InstallShield Wizard が起動します。

●初めて電子署名ライブラリをインストールする場合、＜使用許諾契約＞の画面が表示されます。

内容をご確認のうえ、

「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



手順⑨へ進んでください。

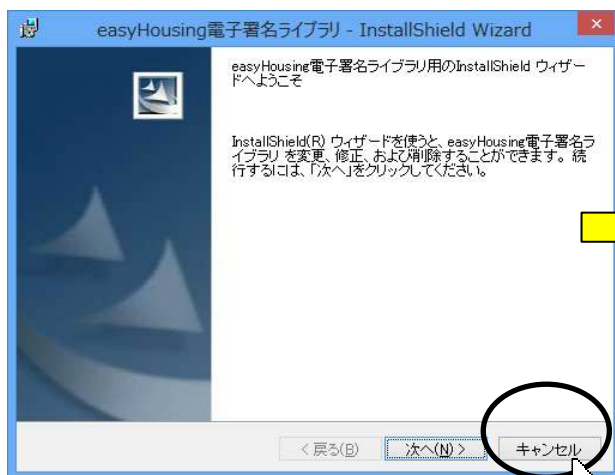


クリック!

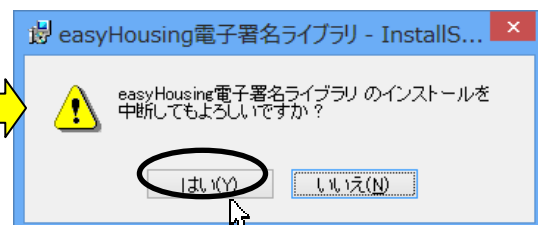
●既に電子署名ライブラリがインストール済みの場合、＜InstallShield ウィザードへようこそ＞の画面が表示されます。

「キャンセル」ボタンをクリックし、「インストール中断確認」ダイアログが表示されたら『はい』を選択しインストールを中断します。

(電子署名ライブラリを再インストールする場合は、アンインストール後、手順⑦からインストールをやり直してください)



クリック!



クリック!

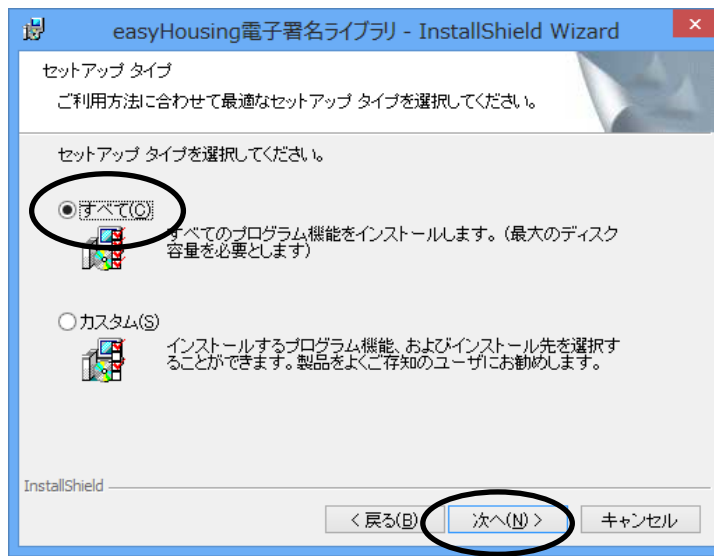
⑨<セットアップタイプ>の画面が表示されます。

セットアップタイプ「すべて」（通常）か、「カスタム」を選択したら『次へ』ボタンをクリックします。

- 通常は「すべて」を選択します。その場合インストール先はデフォルトで

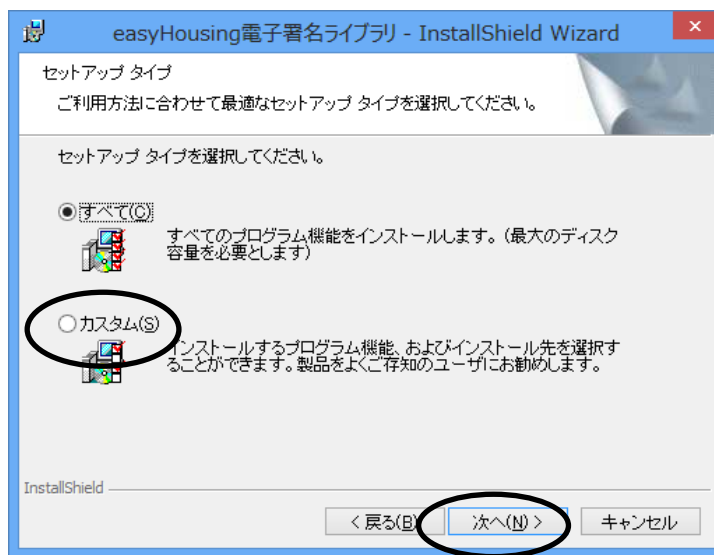
“C:\Program Files\NEC\jasp” となります。

⇒「すべて」を選択した場合、手順⑩⑪⑫をとばして⑬へ進みます。



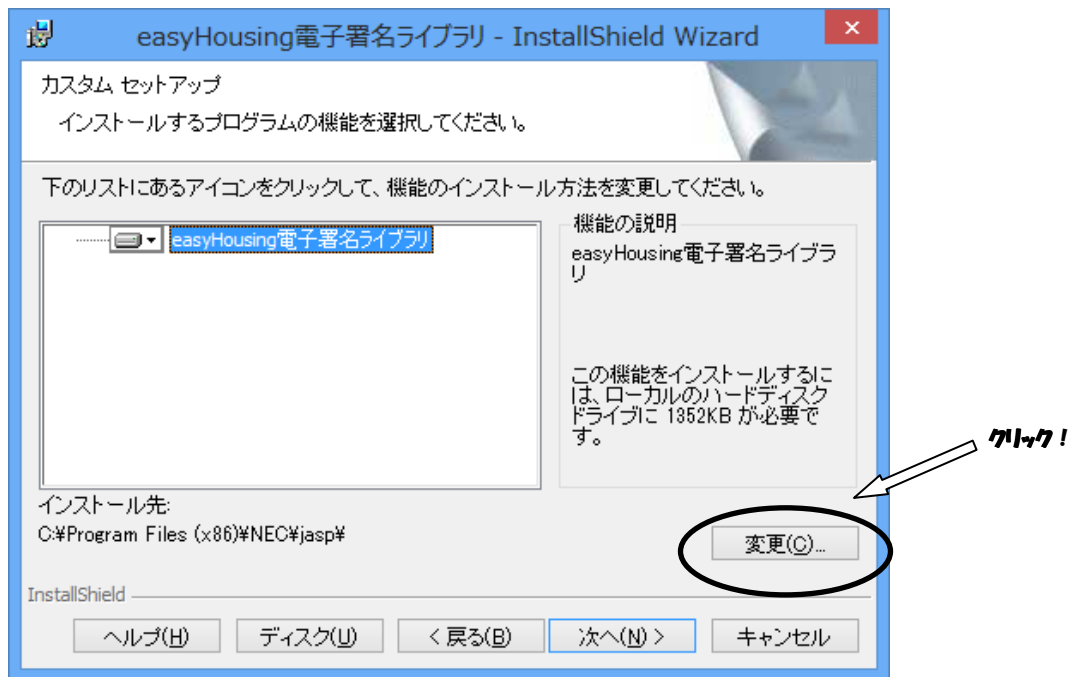
手順⑬へ進んでください。

- 「カスタム」を選択した場合、インストール先のフォルダをデフォルト以外に指定することができます。

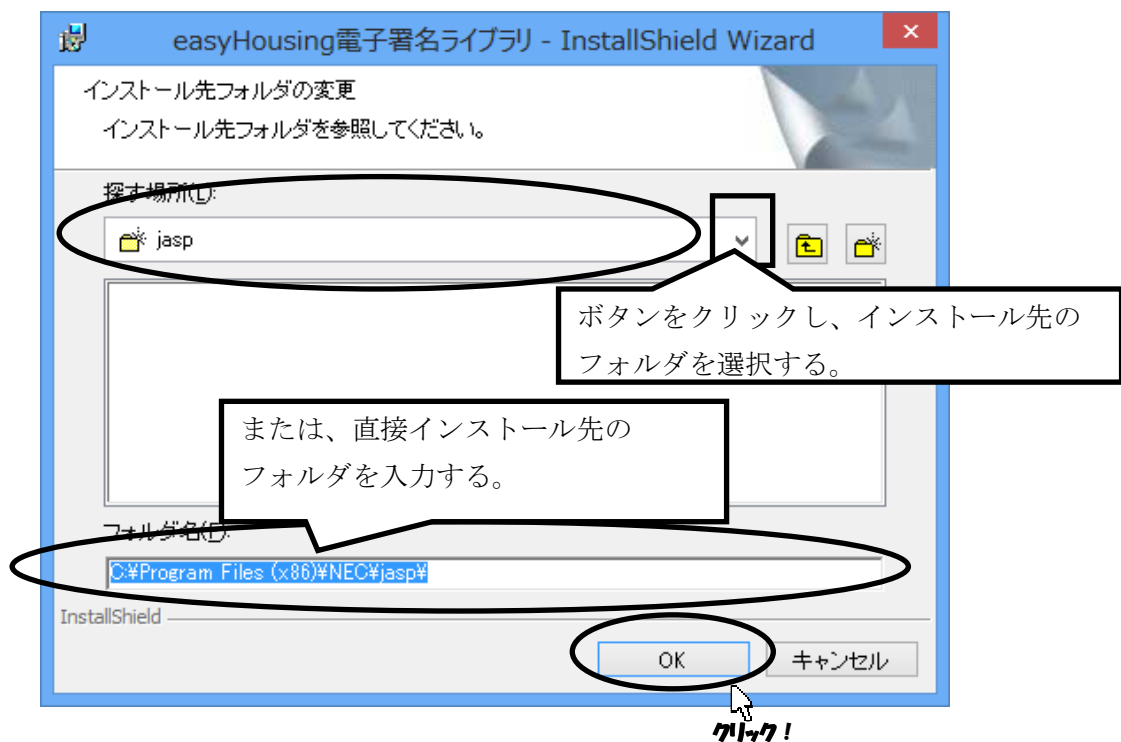


手順⑩へ進んでください。

- ⑩<カスタムセットアップ>画面が表示されます。(手順⑨で「カスタム」を選択した場合)
『変更』ボタンをクリックします。

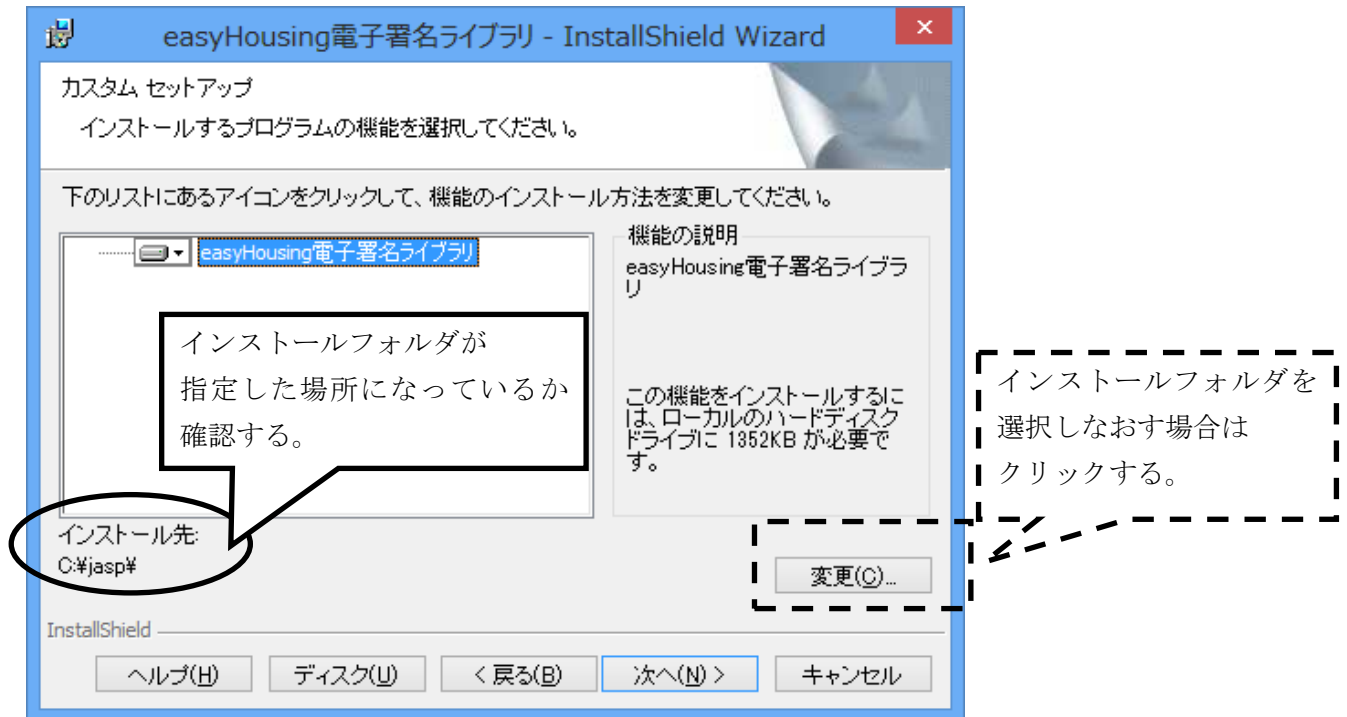


- ⑪<インストール先フォルダの変更>画面が表示されます。
「探す場所」プルダウンメニューからインストールフォルダを指定するか、または
「フォルダ名」 の枠内に直接インストールフォルダの場所を入力し『OK』ボタンを
クリックします。



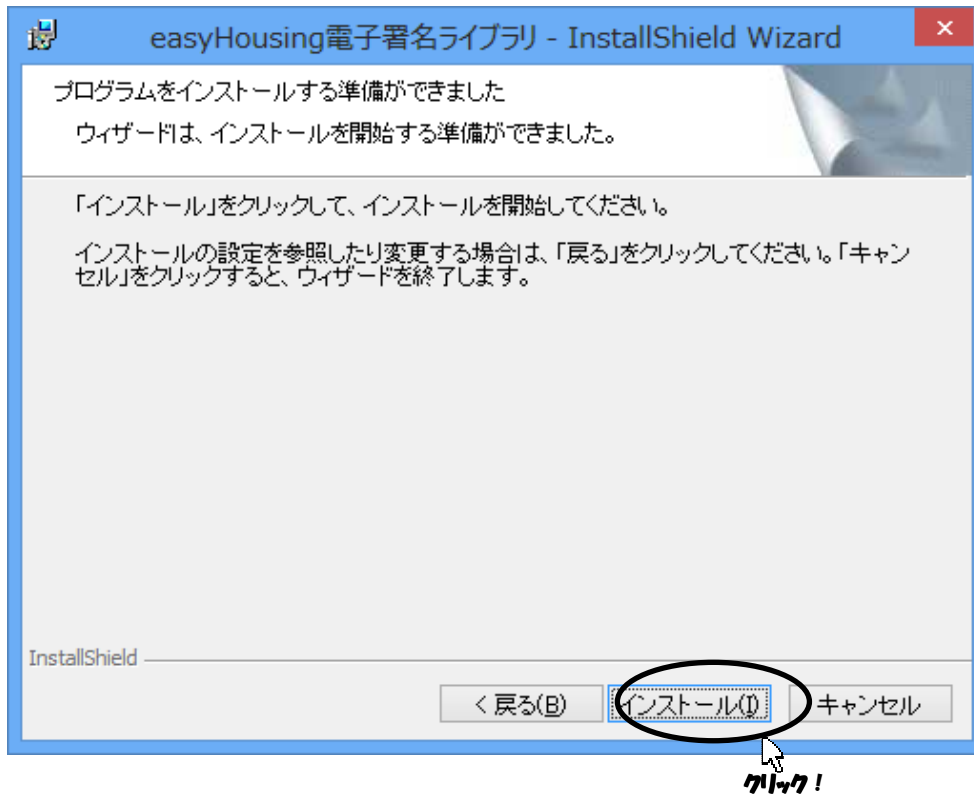
⑫<カスタムセットアップ>画面が表示されます。

「インストール先」が変更されていることを確認し、『次へ』ボタンをクリックします。
再度、インストール先を変更する場合は『変更』ボタンをクリックし、手順⑤へ戻ります。



⑬<プログラムをインストールする準備ができました・・・>画面が表示されます。

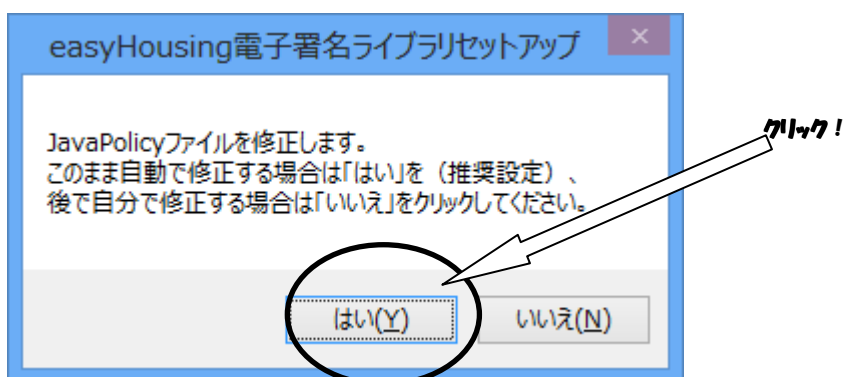
『インストール』ボタンをクリックし、インストールを開始します。



⑭インストール中に「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログが表示されます。

通常は『はい』ボタンをクリックし、修正を行います。

『いいえ』を選択した場合は、インストール後自分で修正します。



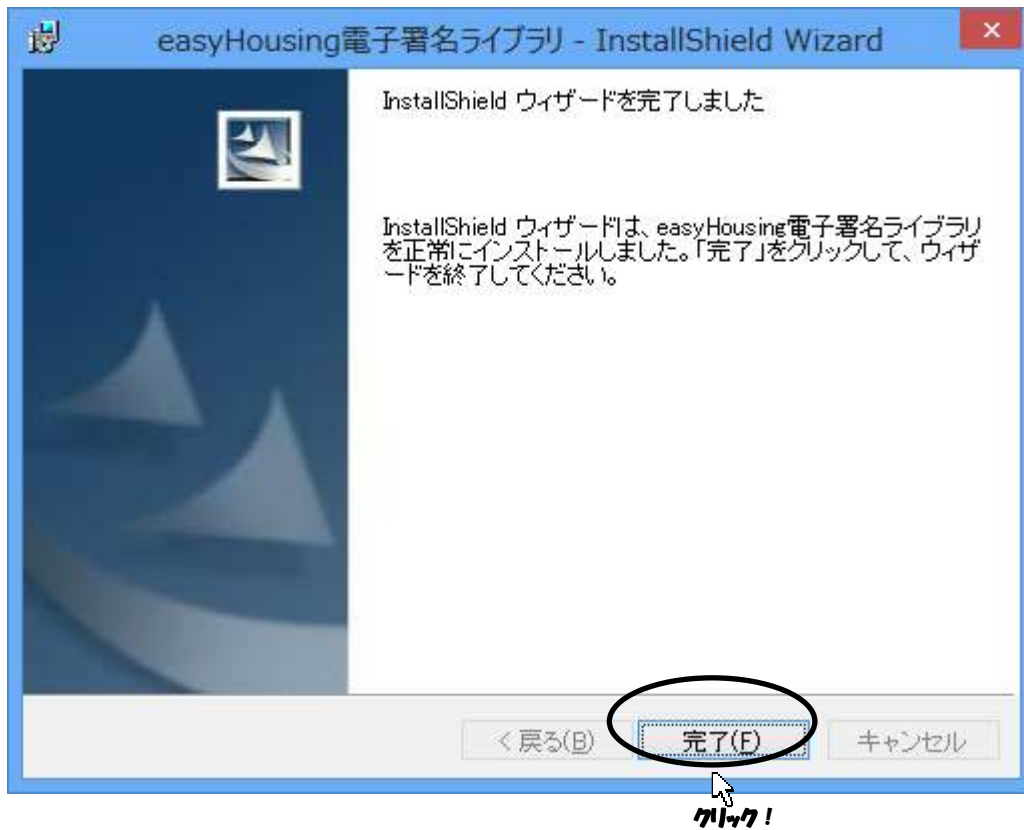
- 「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログで『いいえ』を選択しインストール後に「Javapolicy ファイル」を修正する場合は、以下の記述を追加します。

*JavaPolicy ファイルはユーザのフォルダにあります。(C:¥Users¥(ユーザ名))

> 記述内容 <

```
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
```

- ⑮<InstallShield ウィザードを完了しました>画面が表示されたら、
『完了』ボタンをクリックし、インストール作業は終了です。

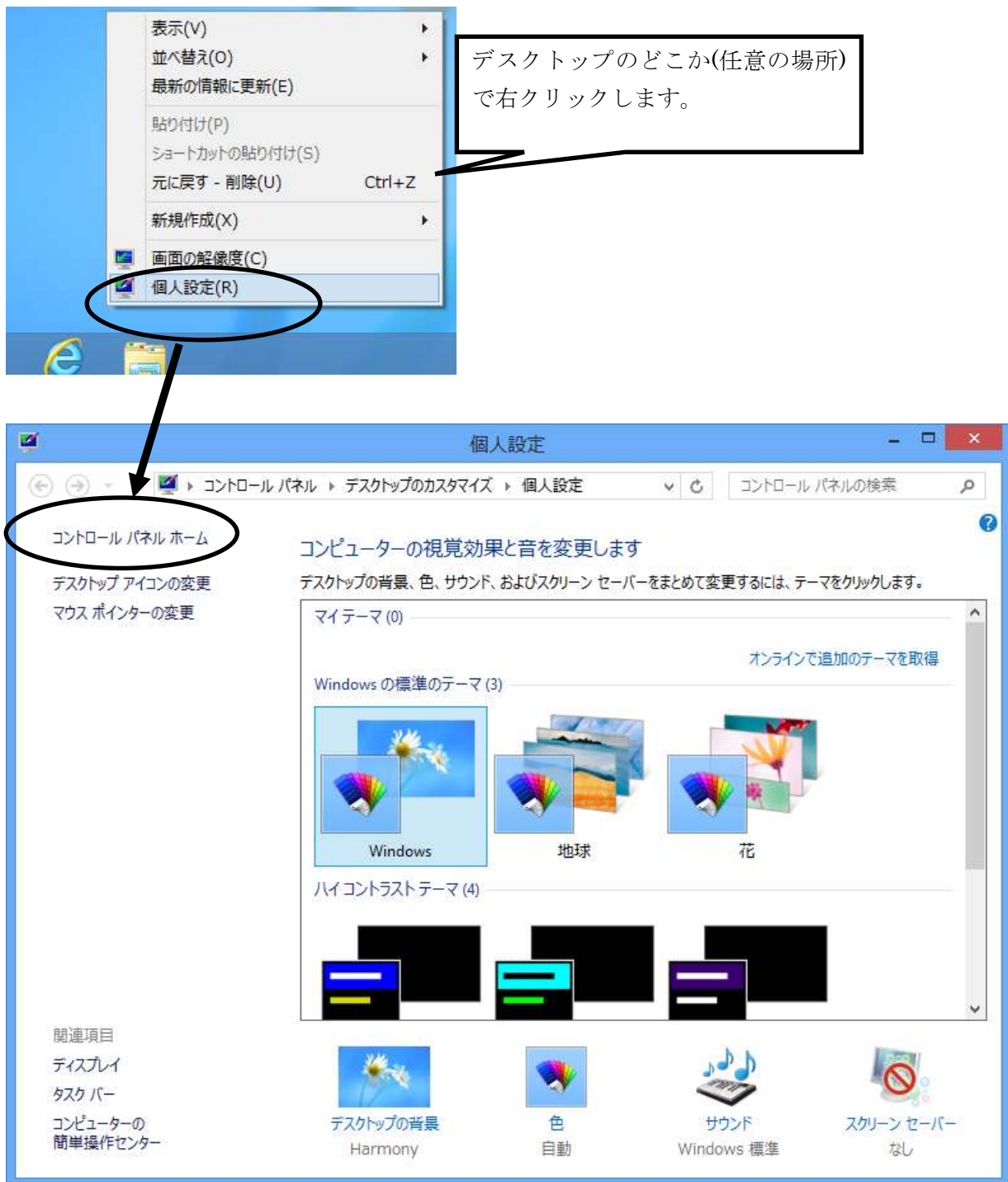


(補足) Administrator 権限の追加・削除手順

※権限の変更には、管理者ユーザのパスワードが必要になります。

管理者ユーザのパスワードが分からない場合は、社内のパソコン管理者様にお問い合わせください。

①デスクトップで右クリック→「個人設定」→「コントロールパネル ホーム」の順にクリックします。



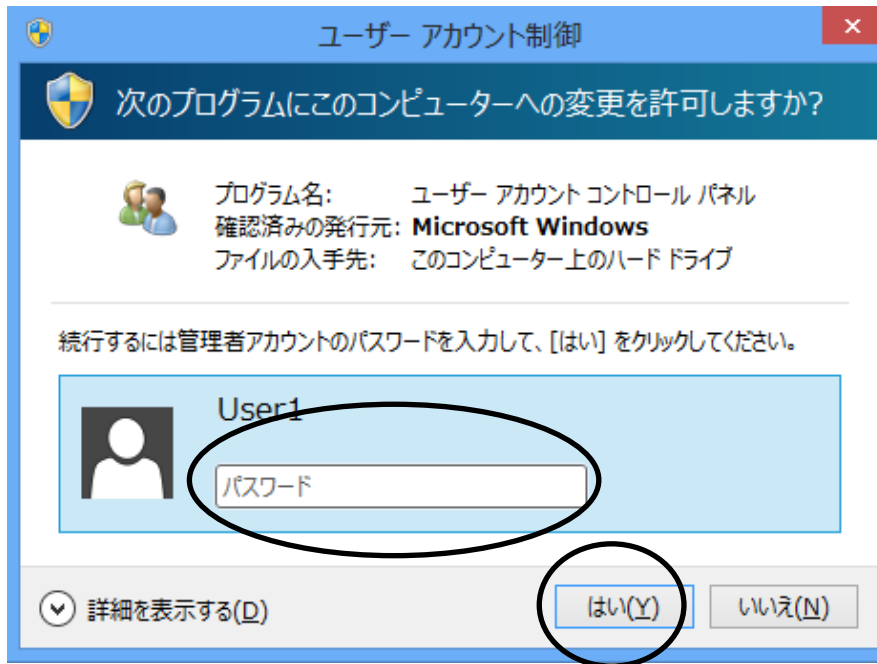
②「表示方法」の右にある「▼」ボタンをクリックした後、「カテゴリ」をクリックします。
(既に「カテゴリ」になっている場合は不要です。)



③「アカウントの種類の変更」を選択します。



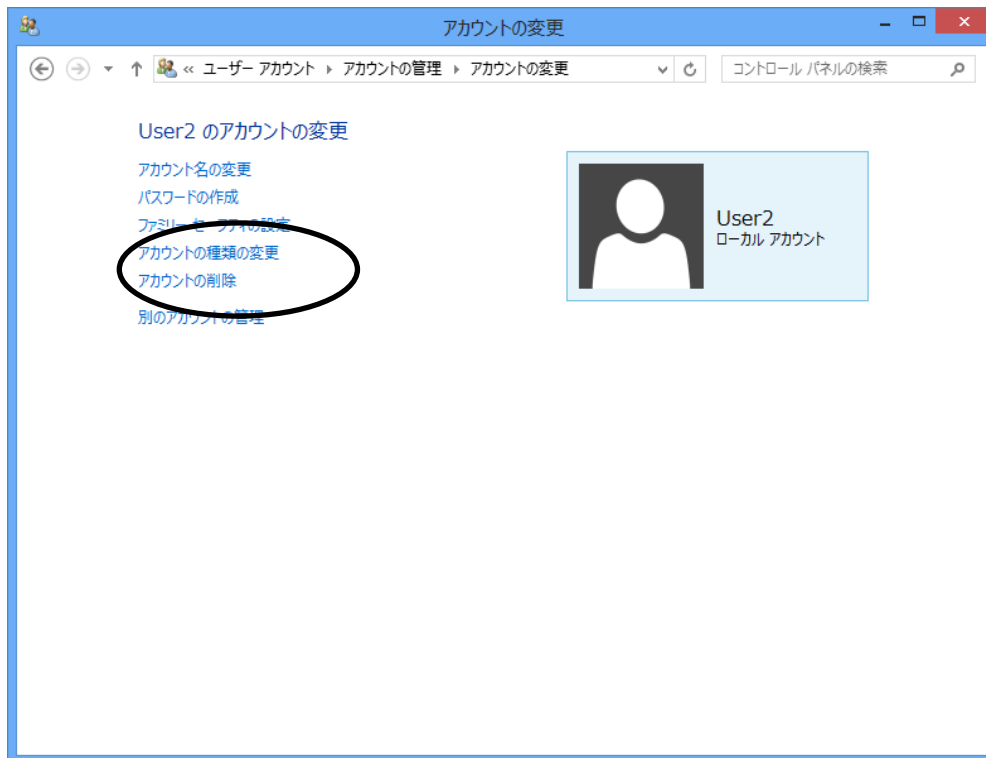
④(パスワードを要求された場合) 管理者ユーザのパスワードを入力し、「はい」をクリックします。



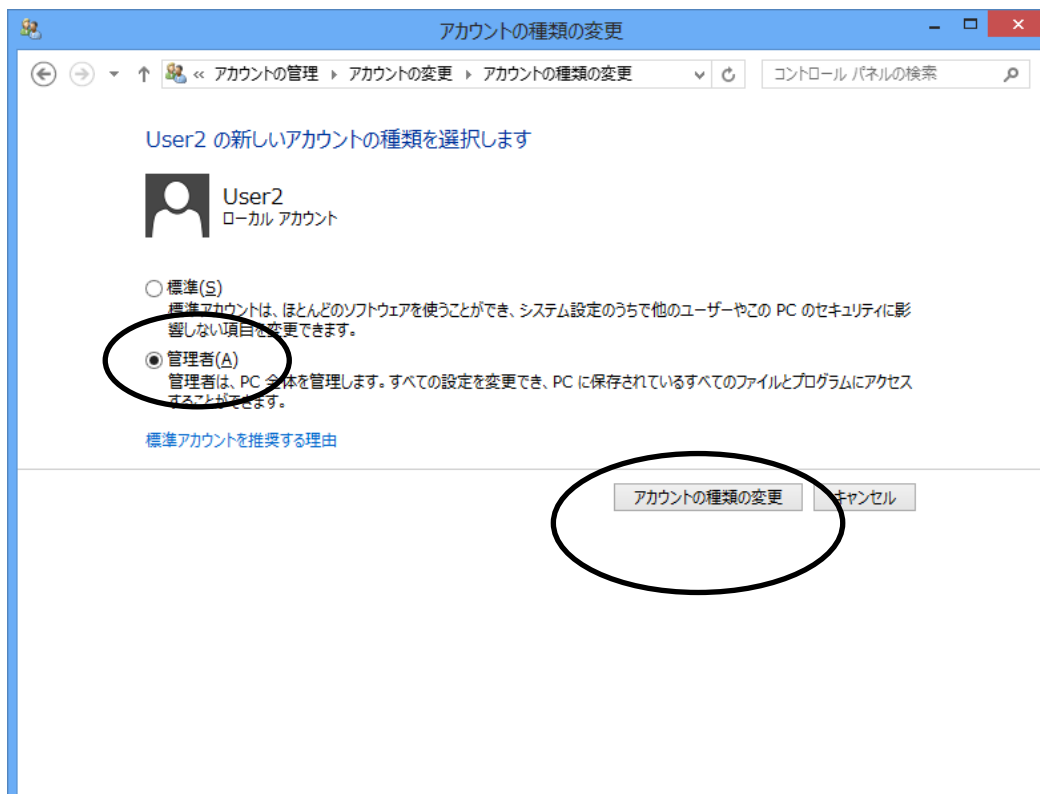
⑤権限を変更したいユーザをクリックします。



⑥「アカウントの種類の変更」をクリックします。



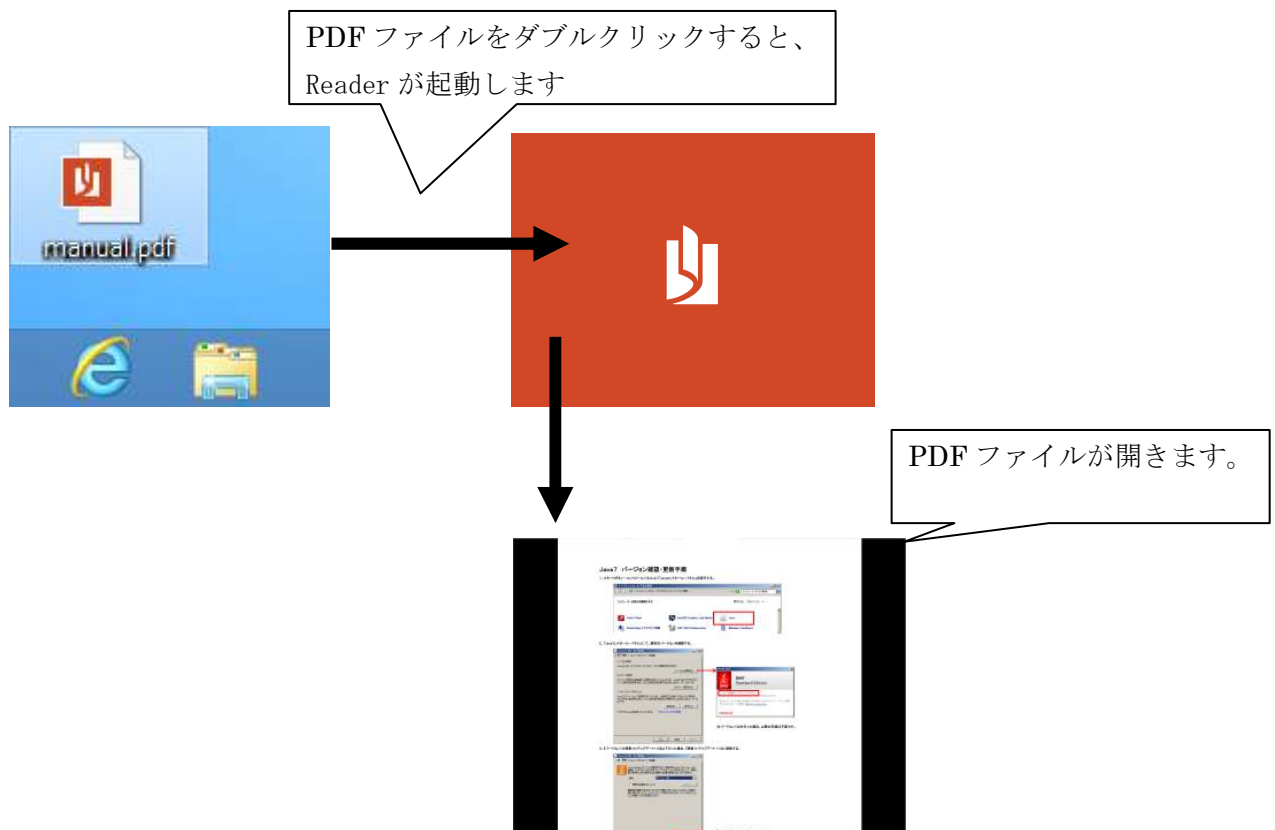
⑦Administrator 権限を追加する場合、「管理者」を選択し、「アカウントの種類を変更」ボタンをクリックします。(権限を削除する場合は、「標準」を選択します)



⑧PC 再起動後、設定が有効になります。

5.3 Reader について

Windows8 は、Windows7 までと異なり「Adobe Reader」をインストールしなくても「Reader」で PDF ファイルを開くことができます。



※Adobe Reader をインストールして使用する事もできますが、Windows8 に対応しているのは Adobe Reader XI(11)以降になります。

以上で、本サービス利用にあたっての環境設定はすべて終了です。

環境設定マニュアル Windows8 編

2013 年 3 月 6 日 第 1.0 版

製作／日本電気株式会社

- ※ Microsoft®、Windows®、Microsoft®Internet Explorer は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における登録商標です。
- ※ その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。